# 嘉穂生涯学習センター改修工事

# 建築工事

		図面	リスト		
図面番号	図 面 名	縮尺	図面番号	図 面 名	縮尺
A - 0 0	図面リスト		A — 2 1	鋼製建具詳細図(5)	
A - 0 1	改修工事特記仕様書(1)		A - 2 2	鋼製建具詳細図(6)	
A - 0 2	改修工事特記仕様書(2)		A - 2 3	1 階天井伏せ図	A1=1/200 : A3=1/400
A — O 3	改修工事特記仕様書(3)		A - 2 4	2 階天井伏せ図	A1=1/200
A - 0 4	改修工事特記仕様書(4)		A - 2 5	トイレブース平面・展開図・詳細図	A3=1/50
A — 0 5	配置図・付近案内図		A - 2 6	外構・植裁撤去工事図	A2=1/220
A - 0 6	1階平面図	A1 = 1/200 · A3=1/400	A - 2 7	フェンンス工事・駐車場区画白線配置図	A3=1/800 · 1/40
A - 0 7	2階平面図	A1=1/200	A - 2 8 (1)	仮設計画図(1)	A3=1/400
A - 0 8	屋根伏せ図	A1=1/200	A - 2 8 (2)	仮設計画図 (2)	A3=1/400
A — O 9	トイレ平面図・展開図	A3=1/100 · 1/200	A - 2 9	部分詳細図	A3=1/40
A — 1 0	鋼製建具配置図(改修前)	A1 = 1/600 A3 = 1/100			
A — 1 1	鋼製建具配置図(改修後)	A3=1/400			
A — 1 2	鋼製建具・仕様確認表				
A — 1 3	鋼製建具表				
A — 1 4	鋼製建具・平面・立面図(AD-1)				
A — 1 5	鋼製建具・平面・立面図(AD-2)				
A — 1 6	鋼製建具・平面・立面図 (AD-3)				
A — 1 7	鋼製建具詳細図(1)				
A — 1 8	鋼製建具詳細図(2)				
A — 1 9	鋼製建具詳細図(3)				
A - 2 0	鋼製建具詳細図(4)				

嘉穂生涯学習センター改修工事	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面リスト	図面 N O
備考	 福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL 0948-57-3887 FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	縮尺	_

No. 1 令和6年度改訂(R6.6)

改修	多建築工事特記仕様書	12.施工中の安全確保	建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等に定めるところによるほか、 (1.3.7) 建設工事公衆災害防止対策要綱に従うとともに、建築工事安全施工技術指針を参考に、	22) 完成図	種類及び提出形式は下記による (1.9.2)   種類及び提出形式は下記による (1.9.2)   種類 類 提 出 形 式 部 数	4. 監督員事務所		
1) 工事概要	5. 种化连带型 4. 2. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3. 4. 3.		常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。		完成図  総二つ折り白焼き製本 (A1)  ※1部	1	・既存建物内の一部を使用する。 監督員事務所に設ける設備、備品については監督員との協議による。	
	『穂生涯学習センタ-改修工事 『麻市大隈町1228番地1	(13)建設リサイクル法	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)の対象となる工事に該当 (※現場説明書による ・する ⊙しない)		<ul><li>※設計図一式</li></ul>	5. 工事用水	構内既存の施設 · 利用できる (※有償 · 無償) ※利用できない	
3. 工事概要は別紙(仕		14.建設副産物の処理	※参考受入場所は現場説明書による (1.3.12)		総合図 ※二つ折り白焼き製本(適宜A1又はA3) ※1部	6. 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ⊗利用できない	
4. 別途工事 •		について	建 設 副 産 物 の 処 理 に つ い て 資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設		※一式   ※C A D データ (J WW) ・ ( ) 部	7. 総合仮設計画書	⊗要する ・要しない	
-	•		副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分		施工図 ※二つ折り白焼き (適宜A1又はA3) ※1部 ※構造躯体 ※CADデータ(JWW) ・()部	8.)危険防止	仮囲い等 ※設ける ・ 設けない 設置方法 窓 木製仮囲い(H= 2.5m) ・ シート張り	
5. その他(〇印のつい)			別し指定された場所へ集積すること。 また、施工区分表に積み込み・運搬・処分までの指示がある工事については、現場内に		※平面図		・ローブ張り ・ ( ) ゲート ・シート (W=4.5m) ・パネル (W= m)	
<ul><li>週休2日促進工事</li><li>入札時積算数量書活</li></ul>	<td (大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>分別保管場所を設置するとともに、再生資源の利用の促進に関する法律、建設工事に係る 資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指</td><td></td><td>  ※建具   ※屋根及び樋</td><td></td><td>・ ハンガー (W= m) 垂直防護施設 ・ メッシュシート (・防炎 I 類 ・防炎 I 類) ・防音シート (防炎 I 類同等)</td></td>	<td></td> <td>分別保管場所を設置するとともに、再生資源の利用の促進に関する法律、建設工事に係る 資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指</td> <td></td> <td>  ※建具   ※屋根及び樋</td> <td></td> <td>・ ハンガー (W= m) 垂直防護施設 ・ メッシュシート (・防炎 I 類 ・防炎 I 類) ・防音シート (防炎 I 類同等)</td>		分別保管場所を設置するとともに、再生資源の利用の促進に関する法律、建設工事に係る 資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指		※建具   ※屋根及び樋		・ ハンガー (W= m) 垂直防護施設 ・ メッシュシート (・防炎 I 類 ・防炎 I 類) ・防音シート (防炎 I 類同等)
2) 建築工事仕				針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法		• ( )		<ul><li>・ 枠付き金網</li><li>・アルミ防音パネル</li><li>・( )</li></ul>
1.標準仕様 図面及び特記仕様書に記	載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書		により適正に処理を行うこと。 工事に際しては、工事着手時に建設副産物処理計画書、再生資源利用計画書等を、工事		工作図   ※二つ折り白焼き (適宜 A 1 又は A 3 )		水平防護施設 ・ 防護柵 (朝顔) ・ ダブルネット 防護施設等取付足場 ・ 単管一本足場 ・ 枠組本足場 (W= m) ・ ( )	
(建築工事編) (令和4年	年版)」(以下「改修標仕」)及び「建築改修工事監理指針(令和4年版)」による。 されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事		竣工時に建設副産物の処理結果報告書、再生資源利用実施書等を提出すること。   指 定 副 産 物 (原則として再資源化施設へ持込むもの)		• ( )		設置範囲 ※図示による ・ 監督員の指示による 設置期間 ※工事期間中 ・ 監督員の指示による	
編) (令和4年版) 」及び	これといるい争項は、国工文通管人民官房官月高精印監修「公共建実工争標学社保管(建業工争 「建築工事監理指針(令和4年版)」による。		がれき類 指定副産物の工事現場からの搬出、再生資材等の利用等については、	(CO. 17. A. 1. BB. + 7. W. du)	(注)データの提出はCD-R、DVD-R又はUSBフラッシュメモリーに保存して提出すること。	9. 構台	養生構台・設置する(図示による)・設置しない	
2. 特 記 仕 様 (1)項目は番号に〇印の			(コンクリート塊) 「リサイクル原則化ルール (平成18年6月12日策定)」により   (アスファルト塊)   実施する。	(23) 保全に関する資料	建設大臣官房官庁営繕部監修の「管理者のための建築物保全の手引き」	10. 工事表示板等	乗入れ構台 ・ 設置する (幅員 m、長さ m) ・ 設置しない 監督員の指示による	
<ul><li>(2)特記事項は 〇印の</li><li>〇印のつかない場合は</li></ul>	ついたものを適用する。 は、※印のついたものを適用する。		木くず   建設汚泥については、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン   建設発生土 (平成18年6月12日 事務次官通知)」に従い、建設汚泥の再生		提出部数 ※2 部・( )部 保全に関する説明書 ※建物概要及び内部仕上げ表 ※施工者一覧表	11. 工事車両の出入口		
	□場合は、共に適用する。 )内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。		汚泥 利用を推進する。		※取り扱い説明書、メンテナンスについての注意事項 (1.9.3)		交通誘導員 ・配置する ( 名以上) ・配置しない	
(4) 特記事項に記載の「	」内表示番号は、公共建築工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。 記なきかぎり、ミリメートルとする。		その他の廃棄物 廃プラスチック ガラス、陶磁器くず 廃石膏ボード 金属くず 繊維くず	(24) 設計GL (25) 過積載の防止	※図示による ①現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による ダンプトラック等による工事用資機材等の過積載を行わないこと。さし枠の装置又は物品	3 1. 改修方法の種類 及び工程	防水改修方法の種類及び工程については「改修標仕」表3.1.1による。 (表3.1.1) シーリング改修工法の種類及び工程については「改修標仕」表3.1.2による。 (表3.1.2)	
章 項 目	特 記 事 項		特別管理産業廃棄物		積載装置の不正改造をしたダンプトラックは工事現場内に出入りさせないこと。	防 2. アスファルト防水		
1 1 適用基準等	図面もしくは特記仕様書に記載なき場合は、以下の仕様書による。		「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル(環境省水・大 原石綿等 気環境局大気環境課)」及び「石綿障害予防規則(平成17年7月1日施	②6 解体等工事の範囲	解体等工事にかかる範囲は以下のとおり。 ①建築物 ①地上部 ・地下部 ・杭 ・ ( )	<b>7</b> k	防水改修工法種別 新規防水層の種別 施工箇所	
	(1) 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修(以下「標準仕様書」又は「標仕」という。)による。		行)」に従い、収集、運搬、処分を行う。 「電気事業法:電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物		・付属構造物 ・浄化槽 ・貯油槽 ・杭 ・ ( )	改	接	
40	(2)「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」国土交通省大臣官房官庁営 繕部監修		原PCB等 の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届 出を行うとともに、適正に保管できるようにして施設管理者に引き渡		・建物への引込線 ・敷地への引込線 (廃止) ・ ( )	le.	水 ・ P2A工法 ・ A-1 ※ A-2	
#	(3)「公共木造建築工事標準仕様書 令和4年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (4)「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		すこと。		<ul><li>○給排水設備 ・建物内配管配線 ・ ( )</li><li>・建物への引込管 ・ 敷地への引込管 (玉下ろし) ・ ( )</li></ul>		森     ・ M4C工法     ・ C-1 ※ C-2       ・ M3D工法     ・ P0D工法     ・ D-1 ※ D-2	
2)補足基準等	適用仕様等、図面、特記仕様書に記載なきものについては、以下の基準、指針、要領、標準図等	(15) 施工中の環境 保全等	建築基準法、建設リサイクル法、環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、水質 汚濁防止法、廃棄物処理法、土壌汚染対策法、資源有効利用促進法その他関係法令等に定める		<ul><li>○空調設備 ・建物内配管 ・空調設備機器 ・建物内風道 ・ ( )</li><li>・ガス設備 ・建物内配管 ・ガス設備機器 ・ ( )</li></ul>	-	「 PODI工法 ・M3DI工法 ・DI-1 ※ DI-2	
通 ( )	による。 (1)「建築構造設計基準 令和3年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		ところによるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、工事の施工の各段階において、騒音、 振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。		・建物への引込管 ・敷地への引込管 (廃止) ・ ( )  ○屋外付帯 ・門、門塀 ○塀、フェンス ○舗装 ( )	事	屋内     ・P1E工法     ・P2E工法     ・E-1     ※ E-2       防水     (保護層は図示による)	
事	(2)「建築工事標準詳細図 令和4年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (3)「建築工事監理指針 令和4年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		(1.3.11) 排 出 ガ ス 対 策 型 建 設 機 械 に つ い て				アスファルトの種類     ※3種     (3.2.2)(3.3.2)       M3D、POD、PODI、M3DI、及びM4DI工法の脱気装置     ※設ける     ・設けない     (3.3.3)	
項	(4)「建築改修工事監理指針 令和4年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (5)「建築工事安全施工技術指針・同解説 平成27年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機器を使用すること。 (対象機種: パックホウ、プルド・ザ、トラウターショペル (車輪式)、空気圧縮機 (可動式)、油圧ユニット		・ 什器・ 信品類等の撤去・ 各種残留物等の撤去は下表による。 ※を標準とする。		断熱工法の断熱材       (3.3.2)         ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) 厚さ(mm) ※25 ・()	
	(6)「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局		(油圧ハンマ・アースオーガ油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機		区 分 建物管理者 工事受注者		・図示による	
	(7)「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び 厚生労働省労働基準局 石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」 環境省水・大気環境局		リバーサーキュレーションドリル・アースドリル・地下連線壁施工機・全回転型オールケーシンヴ掘削機の基礎工事用機   械のうちペースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの)、ロード		アスペスト含有建材     ※       オイルタンク内のオイル     ※		立上り部の保護材     (3.3.2)       ・乾式保護材     ※押出成型セメント版 (厚さ15mm)	
	(8)「建築物等の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(新版)」 建設業労働災害防止協会		ローラー、タイヤローラ、振動ローラ、本イールクレーン、発電発動機(可動式(溶接兼用機を含む)) 但し、以上   はディーゼルエンジン (エンジン出力7.5Kw以上260Kw以下)を搭載したものに限る。)		ピット (浄化槽、便槽) 汚泥 ※ 使用されていた酸、アルカリ、薬品等 ※		・れんが ※JIS R 1250によるもの ・市販品のれんが又は市販品のれんが形コンクリートブロック	
	(9)「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために請ずべき措置」国土交通省告示第468号 (10)「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説(平成8年版)」建設大臣官庁営繕部監修		・工事における振動被害防止要領の適用 振動計の設置については現場説明書による		医療系特別管理産業廃棄物、放射性廃棄物 ※ フロン、ハロン使用機器 ※		(見え隠れ部分) ・コンクリート 仕上りの平たんさ ※a種 ・b種 ・c種 (表8.1.5)	
	(11)「建築工事標準仕様書・同解説」 日本建築学会 (12)「建築工事の手引き」 福岡県建築都市部編集	17) 建築材料等	※ 提出する ・提出しない 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。		P C B 使用機器 ※	3. 改質アスファルト		
	(13)「解体工事の手引き」 福岡県建築都市部編集 (14)「植栽工事の手引き」 福岡県建築都市部編集		ただし、「同等のものとする場合は、監督員の承諾を得る。」と特記されたものについては、 国土交通省大臣官房営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿	27. 敷地に関する調査 (28) 原形復旧	・敷地内障害物の調査 ・敷地内配管、配線の調査 ・地下水位の調査 工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損が生じた場合は原形に復する。	シート防水	防水改修工法の種別         新規防水層の種別         厚さ(mm)         施工箇所           ・ M4AS工法         ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2	
	(15)「黒板、畳、襖工事の手引き」 福岡県建築都市部編集		(最新版) 」による。福岡県設定リサイクル製品の使用製品名及び使用部位については、現場 説明書によること。標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受け、	② 設備工事との	※施工区分表による		- M3AS工法 - AS-T3 · AS-T4 · AS-J1 - P0AS工法 - AS-J3	
3 適用範囲等	全ての設計図書は相互に補完する。ただし設計図書間に相違がある場合、適用の優先順位は、次 の(1)から(5)までのとおりとする。		おおきによること。 (オーロ 水車 に い	取合い	・施工範囲は下記による ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強		・ M3ASI工法       ・ M4ASI工法     ・ ASI-T1 ・ ASI-J1	
	(1) 質問回答書 ((2) から(5) に対するもの) (2) 工事仕様書(嘉麻市所定)		国による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)により、環境負荷の低		※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ		・ POASI工法 M3ASI、M4ASI及びPOASI工法の防湿用シート ・設ける ・設けない (表3.4.3)	
	(3) 特記仕様書 (4) 別冊の図面		減できる材料を選定すること。 使用する材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する		※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強・(		M3AS、POAS、M3ASI、M4ASI及びPOASIの脱気装置 ※設けない ・設ける (3.4.3)	
	(5) 改修標準仕様書		こと。   工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。	30. 風速及び	風速 (・ 32 m/秒 ・ 34 m/秒 )	4. 合成高分子系ルー フィングシート防;		
(4) 現場に常備する 図面等	上記の「1.適用基準等」及び「2.補足基準等」のうち、当該工事に係る図書等については現場事務所に常備し監督員の確認を得ること。	(18). 施工数量調査	指定品目、判断基準は「福岡県環境物品等調達方針」によること。	地表面粗度区分 31. 接着剤	地表面粗度区分 (・I       · II       · II       · IV       )       (各章共通)         ホルムアルデヒド放散等級 (※F☆☆☆ ・ F☆☆ ・ F☆☆ ・ F☆☆ )       (各章共通)		・ POS工法     ・S-F1 ・S-F2     ・シルパー     ※非歩行       ・ S4S工法     ・S-M1 ・S-M2     ・カラー	
	受注者は、工事請負額が500万円以上の工事について、受注時は契約締結後10日以内に、	10). 爬工数量調量	調査項目     調査範囲     調査方法     報告書・数量書       屋根     補修部分     全面打診     ※2部		インス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・ア		・ S-M3         ・ 製造メーカー仕様           ・ POSI工法         ・ SI-F1 ・ SI-F2	
(CORINS)への登録	登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、工事完成時は完成後10日以内に、 工事実績情報サービス (CORINS) に基づき、「建設情報実績」を作成し、嘉麻市教育委員会		※2部 ※2部		総合図は施工図作成に先立ち、建築・設備・その他別途発注工事業者の情報などをすべて 盛り込んだ図面とし、それらの接点の細部調整を行う。		- S4SI工法 - SI-M1 · SI-M2	
	生涯学習課の確認を受けた後に(一財)日本建設情報総合センターに提出しなければならない。   また、同センター発行の「登録内容確認書」の写しを嘉麻市教育委員会生涯学習課に提出する		※2部 ※2部 ※既存部分の破壊を行った場合の補修方法は図面図示による。 (1.5.2) (1.5.3)		総合図の調整は、建築工事の受注者が行い、設備工事・その他の受注者がそれに協力する。		・ S3S工法 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S3SI工法 ・ SI-F1 ・ S1-F2	
	ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める 行政機関の休日は含まない。		※既付部ガの吸域で行うに場合の推修力法は凶固凶がによる。 (1.5.2) (1.5.3) ※調査結果を監督員に報告し設計図書と異なる場合は、監督員と協議する。(1.6.2) (1.6.3)		参考図の製品等の使用にあたっては、参考図以外の形状等に多少相違がある製品等でも同等品 以上であれば使用できる。		· M4S工法 · S-M1 · S-M2	
	問い合わせ先 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-11-28博多サンシティビル II 6F (一財) 日本建設情報総合センター九州地方センター	19. 技能士	遊用工事 工 事 種 別	③4) 竣工後の調査	竣工後(※2 ・1)年以内に当該工事範囲に関する経年変化の状況を調査し、報告すること。		- S-M3 - M4SI工法 - SI-M1 - SI-M2	
	TEL 092-411-3664 FAX 092-411-3486 (1.1.4)		- ・ 対 (セ //) 「以 形 (マ // 株 住 )	2 (1.) 足場その他	手すり先行足場について	7		
6 施工体制台帳	※現場説明書による。受注者は下請け契約を行う全ての工事で施工体制台帳を作成し、工事 現場に据え置くとともに、その写しを監督員に提出すること。		- ユンフリートエキ 空作記 - 木工事 建築大工 - 左官工事 左官	仮	足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省 基発第		脱気装置 ・設ける ・設けない     (3.5.3)       目地処理 ※図示による ・ (     )       (3.5.4)	
7 実施工程表	・概成工期(令和 年 月 日) ※概成工期 設けない		・塗装工事 塗装	設	0424001号平成21年4月24日)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体、変更の作業時及び使用時には、両面に常時、手すり、	5. 塗膜防水	(3.6.3) (表3.6.1) (表3.6.2)	
8. 余裕期間	方式 ・発注者指定方式 ・任意着手方式 (余裕期間内は、受注者の責により現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資		·屋根及び樋工事 建築板金 ①内装工事 内装仕上げ施工		中桟及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」		施工箇所     改修工法種別     新規防水層種別     仕上げ塗料塗り       屋上     ② POX     ※ X-1     ※ カラー ・シルバー	
	(水市が削削的は、変化者の異しよう必要に取入しない資料等の半調を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、実工事期間には、準備・後片付け期間を含む。詳細は、契約特別による。)		· 内装工事         表装           ○金属工事         内装仕上げ施工(銅製下地)	_			・ L4X     ※ X-2     ※ カラー ・ シルバー       脱気装置 ※図面図示による ・ 種類 ( ) ・ 設置数量 ( )	
9) 工事の記録	・ 使力 りり 別回 を 含む。 辞稿 は、 突利 行則 による。 ) 工事 日報 は、 工事 記録 を 兼ねる ことができる。		○植栽工事 造園 請負額 300万以上	事	外部足場 · 枠組足場 ① (	6. シーリング	シーリング改修工法の種類 (3.1.4) (表3.1.2)	
	下記要領により撮影し、写真帳に説明を記入のうえ提出する。(原版は撮影業者が保管する。) (1.2.4)	20. 施工の検査等	見本施工の実施箇所( ) 工種( ) (1.7.5)		防護シートによる養生 ※行う ・ 行わない 材料、撤去材等の運搬 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 (表2.2.1)		・シーリング充填工法	
	区分 分類 規格 部数 原版の大きさ 備考 (株式・ボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21. ホルムアルデヒド     及び揮発性有機化		2. 養生	既存部分の養生 ⊗ピニールシート等		シーリング材の種類 「改修標仕」表3.7.1による。 (表3.7.1)	
	** カラー *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	合物の測定	VOC測定の検体数 - カ所 測定対象室		既存家具の養生 ※ビニールシート等・())		接着性試験 ※ 簡易接着性試験 (3.7.8)	
	施工中 カラー ※サービス版 ※1部 24×36以上又は 撮影箇所は監督員との協議による デジ 外面像		※現場説明書による ・図示 測定時期、測定位置、方法については、測定前に監督員に確認する。	3. 仮設間仕切	仮設間仕切等の種別     (2.3.2) (表2.3.1)       種別     下地     仕上材 (厚さ)     充てん材     塗装     設置箇所	1		
	完成時 カラー   ※サービス版   ※2部   24×36以上又は   撮影箇所は監督員との協議による   デジカ画像		測定方法等は「揮発性有機化合物の室内測定要領」参照 ※学校施設については、文部科学省「学校環境衛生基準」		・ A種 ・ 軽量鉄骨 ○合板 (※9.0 ○)2.0) 厚さ mm ※無し ・ B種 ・ なるティード (※9.5 ・ ) ・ 方面	1		
	撮影者は建築完成写真の撮影実績がある者で、監督員が承諾する撮影者(着工前、施行中)、		(平成21年4月1日告示第60号)に基づきVOC等の測定を行う。 (1.7.9)		・C種 単管下地 防湿シート 図示による			
	注 記 整合側の飛光に成子後の機能を表現がある。 全合側の飛光する専門集合(元成時)とする。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式としCD-Rで提出する。 (200万画素以上300dpi以上)				仮設扉   ※	]		
	各工程ごとに作業時の状況がわかるように黒板(工事名、撮影箇所等記入)、スケール等			備考	承認覧	工事名称	図面名称	
	をあて撮影する。このほか、写真の撮影、整理等については国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編」による。					嘉穂生涯学	型 <b>センタ−改修工事</b> 改修工事特記仕様書(1)	
10) 電気保安技術者	※適用する(工事用電力設備の保安責任者が兼ねる。 ) ・適用しない (1.3.3)					****	尺度 図面番号	
11)施工条件	※現場説明書による (1.3.5)						委員会生涯学習課 ————————————————————————————————————	
		1				1		

令和6年度改訂(R6.6) No. 2 

 ・タイル部分張替え工法

 材 料

 3 7. とい といの材種等・ ( 4 4. 欠損部改修工法 |4| 4. 仕上塗材仕上げ (4. 1. 5) (4. 5. 2) (表4. 4. 1) (表4. 5. 1) (表4. 5. 2) (表4. 7. 1) (3.8.2) コア抜き取り確認 ・実施する (4. 1. 4) (4. 4. 7) ※実施しない 
 (..., 0) (4.5.2) (表4.4.1) (

 呼び名
 仕上げの形状
 工法

 ・ 外装薄塗材Si
 ・ 砂壁井
 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆のもの ・ ( ※ポリマーセメントモルタル ・エポキシ樹脂 (3. 8. 3) 2 ひび割れ長さ 500m毎及びその端数につき1個 鋼管製といの防露巻きは改修標仕(表3.8.4)による。 薄付け仕上塗材 コアの形状 径50mm 深さ70mm 可とう形外装薄塗材Si ・ ゆず肌状 8. アルミニウム製笠木 部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ・ ( (3.9.2) 抜き取り部の補修方法 ・ポリウレタン樹脂 ・シリコン樹脂 外装薄塗材E さざ波状 ・こて 表面処理 ※ AB-1種又はBB-1種・( 可とう形外装薄塗材E (4. 1. 4) (4. 4. 8) タイル張替え工法 · Uカットシール材充填工法 (4.1.4)(4.3.5)(4.3.7) 壁 棟上避雷導体システム ※無・有 防水形外装薄塗材E · 凹凸状 材 料・シーリング用材料 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 権 加 ※1成分形又は2成分形 (表4.4.2) 9. 施工 着色骨材砂壁 ・ポリマーセメントモルタルの充填 形式 外部側に柱形のない場合 外部側に柱形のある場合 砂壁状 ※行う・行わない JIS A5785 ポリウレタン系シーリング材 (2) 特殊な用途等に係る建築物で、 厚付け仕上塗材 外装厚塗材 吹放し 柱の両側又は開口端部上下及び 柱形の両端及び3~4m 製造所・( 垂直方向 高度な防水技術を要するものと これと同等以上の施工責任が認められる者から選ぶこと。 **外基厚涂材**( 凸部机理 - 外装厚涂材 C 可とう性エポキシ樹脂 
 垂直方向
 中間3~4m程度
 程度

 水平方向
 各階ごと打継ぎ目地の位置
 監督員が承諾する場合 ・こて 外装厚塗材E 平たん状 ※適用 JIS A6024 | 水平万回 | 中縮調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法 | 幅20mm以上、深さ10mm以上 (1)、(2)以外の場合 防水施工工事業者は、建設業法第3条の許可(防水工事業) ひき起こし **ナメントスタッコ以外の塗材の場合** (4. 1. 4) (4. 3. 5) (4. 3. 8) (4. 4. 8) を受けている者から選ぶこと。 ・シールエ法 かき落とし 材 料 外装匣塗材SiF 10. 保証年限 防水保証年限は、引渡の日から次表のとおりとする。 材 村 ・パテ状エポキシ樹脂 JIS A6024 保証については防水工事業者が、(一社)福岡県防水工事業協会会員の場合は、 受注者、防水工事業者、(一社)福岡県防水工事協会の連名保証とする。 誘発目地 誘発目地 上記以外の箇所の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上 適用 ・適用しない ・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024 · 複層仕上塗材 複層塗材CE 凸部処理 目地等の形状は、凹凸、広狭等のないものとする。 ※水系アクリルつやあり 可とう形復層塗材CE 凹凸模様 ・ローラー その他の場合は、受注者、防水工事業者、製造メーカーの連名保証とする。 4. 欠損部改修方法 ・充填工法 (4, 1, 4) (4, 3, 5) (4, 3, 9) 梅丽途材Si 防水の種類 アスファルト防水 (A-1, 2, 3, Al-1, 2, 3, B-1, 2, 3, B-1, 2, 3, 4, DI-1, 2) タイル張り工法と張付け材料の塗厚 (表4.4.4)(表4.4.5) 張り付け材料 備考 複層塗材E 品質・規格等 タイルの種類 タイルの大きさ 工法 複層塗材RE 改質アスファルトシート防水 (AS-T1, 2, 3, 4、AS-J1、ASI-T1、ASI-J1) 種類 塗厚(mm) 密着張り 防水形複層塗材CE 漆匣25mmを超える場合の補強 合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F1, 2:シート(7)1.5mm及び2.0mm、S-M1, 2、 ・モルタル塗替え工法 改修標仕4.2.2(9)による既製目地材 5~8 4~7 防水形複層塗材E 小口タイル 1枚ずつ張り SI-F1, 2、SI-M1, 2) 、 塗膜防水 (X-1, 2) 適用する ※行う ・行わない ・図示 改良積上げ張り 外装壁タイル 防水形複層塗材RI (形状 ※図示 合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F1:シート(ア)1.2mm) 二丁掛けタイル以下 下地側4~6 ・可とう形改修用 改良圧着張り タイル側3~4 11. その他の防水 ・モルタル塗替え工法 (4, 1, 4) (4, 3, 5) (4, 3, 10) ・可とう形改修塗材RE さざ波状 - ローラー ※水系アクリルつやあり 施工箇所 種別・工法 保証年限 (年) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ・可とう形改修塗材CE モルタル ユニットタイル 小口未満 ※図示・( に張り付ける 溶剖系 モザイクタイル張り 3~5 小口未満 5. 浮き部改修方法 (4.1.4)(4.3.11~16)(表4.3.5.6) 
 アンカーピンの本数
 注入口の箇所数
 充填量

 (本/m²)
 (箇所/m²)
 又は注入量
 (4. 2. 4) (4. 4. 7) (4. 4. 8) タイルの種類 ・外装用塗膜防水材 ※外壁用アクリルゴム系 四凸状 下地举動緩衝材 きじの質 うわぐすり 役物 色 見本 備考 施工箇所 | 形状・寸法 | きじの質 | うわぐすッ | 攻物 | □ | 次表 | 1類 | 耳類 | 耳類 | 耳類 | 無ゆう | 施ゆう | 有 | 無 標準 | 特注 | 焼き ・適用する ・ローラ-1. 施工調査数量 調杏節用 ※図示 (モルタルを撤去しない場合) ゆず肌状 一般部 指定部 一般部 指定部 (箇所/ml) 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の さざ波状 ・アンカーピンニング - \*\*25 **%16 %25** 挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 部分エポキシ樹脂注入工法 ※ホルムアルデヒドの放散量 F☆☆☆等級のもの・ ( 調査方法 ・図示 ※目視及ぶ打診 調査報告書 ※ ( ) 部を監督員に提 ・アンカーピンニング ×20 \*12 \*20 \*25 )部を監督員に提出する。 防火材料の指定 ※屋内の壁及び天井の仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を 補修方法・図示・() 受けた防火材料とする。 調査のための アンカーピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法 (1.6.3) **※13 ※20 ※12 ※20 ※50** 破壊部分の補修 標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。 注入口付アンカーピンニング **※**9 **※**16 25 タイルの見本焼き ※行わない ・行う タイルの試験張り ※行わない ・行う ヤメント系下地調整材 JIS A6916規格品 ひび割れ部改修方法 樹脂注入工法 (4. 1. 4) (4. 2. 4) (4. 2. 5) ポリマーセメントモルタル ※監督員の承諾する製造所 材\_料 製 造 所 JIS A6024の規格品 • 製造所 ( \*9 \*16 \*9 \*16 \*25 . . . . . . ※エポキシ樹脂 注入口付アンカーピンニング ※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形) (4.1.4)(4.4.9~15)(表4.3.5,6) 5. 浮き部改修方法 全面エポキシ樹脂注入工法 剛離剤 アンカーピンの本数 注入口の箇所数 充填量 製造所 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマー ※9 ※16 ※9 ※16 ※50 改修工法の種類 (箇所/m²) 又は注入量 5 (1.) 改修工法 既存建具を新規金属製建具に改修する場合の工法 (モルタルを撤去しない場合) セメントスラリー注入工法 一般部 指定部 一般部 指定部 (箇所/ml) 注入工法の種類 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 具(2) アルミニウム 注入口間隔 ※200~300mm間隔 · ( 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの 部分エポキシ樹脂注入工法 (5.2.2~4) (表5.2.1) (表5.2.2) 外部に面する建具 エポキシ樹脂の注入量 ・ ( 注入口付アンカーピン 製建具 アンカーピンニング 種別 外部に面する建具
※ 普通サッシ ・ A種 ② B種 ・ C種 ・ (
・ 防音サッシ 性能 (
・ 断熱サッシ 性能 (
表面処理 ※図示による 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 、呼び径外径6mm 全面エポキシ樹脂注入工法 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 **※20** アンカーピンニング全面ポリマ 注入口間隔 セメントスラリー注入工法 ひび割れ幅(mm) 0.3以下 \*16 25 注入口間隔(mm) 注入口付アンカーピンニング **※**9 部分エポキシ樹脂注入工法 枠の見込み寸法 ※図示による ステンレス鋼板 ※SUS304 注入口付アンカーピンニング 0.3~0.5 ・ポリマーセメントスラリー ・50・( 0.5~1.0 全面エポキシ樹脂注入工法 ・浮き部分撤去モルタル塗替え工法 ※ 外面納まりの可動式 ・ ( . 網戸 ) (5. 2. 3~4) エポキシ樹脂の注入量 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマー **%16 ※**9 **※**50 **※**9 網の材種 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製 厚さ ※10 ・( セメントスラリー注入工法 コア抜き取り確認 ・実施する ※実施しない **\*9 \*16 \*9** (5.3.1) (表5.3.1) コア抜き取り個数 ひび割れ長さ 4. 樹脂製建具 注入口付アンカーピンニング ひび割れ長さ 500m毎及びその端数につき1個 テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 
 種別
 外部に面する建具

 ※ 普通サッシ
 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ (

 ・ 防音サッシ
 性能 (
 コアの形状 径50mm 深さ70mm アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの 抜き取り部の補修方法 4 1. 施工調査数量 细杏筋用 ※図示 調査項目 ※漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 注入口付アンカーピン ・断熱サッシ 性能 Uカットシール材充填工法 (4, 1, 4) (4, 2, 4) (4, 2, 6) ※タイルの剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 、呼び径外径6mm 枠の見込み寸法 ※図示による 備考 (4, 3, 5) 簡易気密型ドアセットの性能値 ・シーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ・ポリマーセメントモルタルの充填 5. 细製建具 (5.4.2) 調査方法 ・図示 ※目視及ぶ打診 ・ ( 調査報告書 ※ ( ) 部を監督員に提出する。 JIS A5785 ポリウレタン系シーリング材 ※行う 行わない 改 2. 調査のための 補修方法・図示・( 可とう性エポキシ樹脂 (1, 6, 3) 製造所 • ( JIS A6024 破壊部分の補修 簡易気密型ドアセットの性能値 ※適用する (※A-3 ・ ) ・ 適用しない (5.5.2) 3. ひび割れ部改修方法 ビニル被覆鋼板 ・ 適用する ・ 適用しない カラー鋼板 ・ 適用する ・ 適用しない シール工法 (4. 1. 4) (4. 2. 4) (4. 2. 7) · 樹脂注入工法 (4. 1. 4) (4. 4. 5) (4. 4. 6) 製 造 所 JIS A6024の規格品 材料 ※エポキシ樹脂 ----テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し. 製 造 所 ・パテ状エポキシ樹脂 JIS A6024 承諾を受ける。 召合わせ、縦小口包み板などの材質 ※鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ ( 《エホキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形) ・可とう性エポキシ樹脂 JIS A6024 6. 目地改修工法 目地ひび割れ部改修工法 材質 ※SUS304 · ( ) 表面仕上げ ※HL · ( ) (5.6.2~5) 7. ステンレス製建具 ・軟質形エポキシ樹脂 既製調合モルタル(目地材料) 製造所( 4. 欠損部改修方法 (4, 1, 4) (4, 2, 4) (4, 2, 8) 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ 注入工法の種類 伸縮調整目地改修工法 (4. 1. 4) (4. 4. 16) 製 造 所 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 シーリング用材料 種類 ※改修標仕(表3.7.1)による。 ・エポキシ樹脂モルタル JIS A6024 8. 木製建具 (表5.7.5~7) (表5.7.8~11)(5.7.2~5.7.4) 注入口間隔 ※200~300mm間隔 · ( ・ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂の注入量 ・ ( 4 1. 施工調査数量 (1.6.2) 調査項目 ※仕上げ塗材等の劣化部分、剥落部分等を壁面に表示する。 手動式エポキシ樹脂注入工法 機械式エポキシ樹脂注入工法 ※既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。 施工調查数量 ひび割れ幅 (mm) 0.3以下 調査方法 ・図示 ※目視及ぶ打診 ・ ( 調査報告書 ※ ( ) 部を監督員に提出する。 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動 9.) 建具用金物 見本品を監督員に提出して承諾を受ける。 (表5.8.1) (5.8.2~4) 注入口間隔(mm) の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 (1.6.3) マスターキー ※製作する (※新規 ・既存に合わせる) ・製作しない ※モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。 壁 2. 調査のための 補修方法 ・図示 ・ ( 100~200 建具金物の種類 0.3~0.5 ※浮き部分を壁面に表示する。 破壊部分の補修 品質・規格 150~200 調査方法 ・図示 ※目視及ぶ打診 ・ ( 調査報告書 ※ ( ) 部を監督員に提出する。 既存塗膜等の除去、 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 (4.5.4) (表4.5.4~4.5.7) 処理範囲 コア抜き取り確認 ・実施する 評価名簿による ※実施しない 下地処理及び下地 
 工法
 処理範囲
 下地処理

 ※高圧水洗工法(30MPa程度以上)
 ※既存仕上げ面全体・図面図示
 本締り錠 コア抜き取り個数 ひび割れ長さ 破壊部分の補修 ひび割れ長さ 500m毎及びその端数につき1個 ・サンダー工法(10MPa程度以上) ※既存仕上げ面全体・図面図示 ピポットヒンジ コアの形状 径50mm 深さ70mm (4. 1. 4) (4. 3. 5) (4. 3. 6) . ひび割れ部改修方法 樹脂注入工法 
 材料
 製造所

 脂
 JIS A6024の規格品
 ヒンジクローザ 抜き取り部の補修方法 黥価名簿による ・集じん装置付き超高圧水洗工法 フロアヒンジ ※エポキシ樹脂 ・Uカットシール材充填工法 (4. 1. 4) (4. 4. 5) (4. 2. 6) ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 (·低粘度形 ·中粘度形) 備 考 ・ポリマーセメントモルタルの充填 10. 自動ドア開閉装置 駆動装置の性能値 (5. 9. 2~3) ※上記処理範囲以外の既存面全面 ※「改修標仕」表5.8.1による・ ( 軟質形エポキシ樹脂 シーリング用材料 引き戸用 引き戸(多機能トイレ)用 ※「改修標仕」表5.8.2による・( JIS A5785 ポリウレタン系シーリング材 ・行わない ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 塗膜剥離剤 製造所( 検出装置 ※「改修標仕」表5.8.3による・ ( 製造所 • ( ・可とう性エポキシ樹脂 戸の開閉方式 ※図示による・ ( 注入口間隔 ※200~300mm間隔 製造所・( 検出装置の種類 ・光線(反射) センサー ・熱線センサー ・音波センサー エポキシ樹脂の注入量 ・( JIS A6024 ※下地調整塗材 ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ 多機能トイレスイッチ ・防水形仕上塗材主材を使用 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 ・ポリマーセメントモルタル 製造所( 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。 注入口間隔 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 備考 承認覧 工事名称 図面名称 嘉穂生涯学習センター改修工事 0.3~0.5 改修工事特記仕様書(2) 尺度 エポキシ樹脂の注入量 嘉麻市教育委員会生涯学習課 A - 02日付

令和6年度改訂(R6.6) No. 3 5 11. 重量シャッター (5.11.2~4) 6 (11) せっこうボード |6| 15. カーテン及び 機能による種類 (6. 13. 2) (6. 13. 3) 6. 金属成形板張り Г14. 6. 2」 「20. 2. 16」「表20. 2. 1」 材種 製法 材種 寸法 (mm) 厚 (mm) 管理用 ・ 防火 (・ 外壁用 ・ 屋内用) ・ 防煙 表面処理 きれ地名称品質 ひだの種別 (5. 11. 2) シャッターケース (防火・防煙以外の場合) ・ 設ける ・ 設けない 下地張り ・突付け ・ スパンドレル系 ・ 押出し ※ アルミニウム 及び合板張り ・せっこう - 9. 5 BB-1種 ・片引き ・引分け ・有 ※無 開閉機能による種類 · ロール · ( ) V kw以下(過電流保護装置付) ・ バネル系 ※プレス ※上部電動式(手動併用) 電源 ※ 総目処理工法 - 15 ・片引き ・引分け ・有 ※無 申縮調整継手 ・ 設ける ・ 設けない 上部手動式 ⊙化粧せっこ ※暗墓用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは300mm以上とする。 耐風圧強度 • ( 450\*910 屋内用防火、防煙シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・シャッター二段降下方式 落下防止装置 ・二重チェーン ・急降下制動装置 ・急降下停止装置 木目模様 ・直張り ※目透し 専用軽鉄 設置個所は図示による 下地材付き (裏桟付) 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。 - (†1.)酸 日添し タイプク 16. ブラインドボックス 材種 ※アルミニウム製 (既製品) ・ 鋼製 ・ (5.12.2~4) (表5.12.1) 継目処理 ・10 ・12 (無石綿) カルシウム 12. 軽量シャッター 開閉機能による種類 6 1. フリーアクセス 木質がか板 硬質木毛が小板 打込み · 20 ※25 施工箇所 構法 寸法 高さ 耐震 作注 所定荷里 表面仕上げ材 住能 ・支柱調整式 ・500×500 ・1.06 ・3,000N ・帯電防止床タイル ·上部電動式 (手動併用) 電源※ kw以下(過電流保護装置付) フロア 材種 ※ステンレス製 ・ ( 普通木毛が小板 ・張付け 備考 17. コーナービード ・敷込み スラットの形状 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 材 種 ※アルミニウム押出型材 ・塩化ビニル製 18. 天井見切縁 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。 施工箇所 ※仕上表による ・ ( タイルカーペッ 置敷式 ・ パーティクルポー | ト | 19.) 点検口 セクション材料 ※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ (5.13.2) ・ ファイバーグラスタイプ 施工箇所 材 種 寸 法 天井 ⊗アルミニウム ・ ( ) ○150×450 ・600×600 ☆ ・アルミニウム ・ ステンレス ・450×450 ・600×600 ・天然木化 ・福岡県産材 感電防止性能 (漏えい抵抗 R≧1×10<sup>6</sup> Ω 開閉方式 ※パランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納方式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 構成材の材質 ・アルミニウム ・鋼製 床 品質 評価名簿による 形式 · 一般型 · 簡易密閉型 · 密閉型 · 遮音シール材 ※アクリル系シーリング材 ・かタン系シーリング ・ジョイントコンパウント エ ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板(めっきの付着量Z27) · ステンレス鋼板(SUS304) 生上げ 事 2. 可動間仕切 の 20. くつふきマット 材種 ※塩化ビニル製又はゴム製(受枠ステンレス製)SUS304 耐風圧機能 • ( (6. 13. 2) (6. 13. 3) 
 構造形式
 パネル部の総厚さ
 表面材種(厚さ)
 仕上げ

 (ネル式
 ・( ) 以上
 ※銅板 ・( ) ※メラミン樹脂又はアクリル樹脂(タッド式 )
 ※0.6 ・( ) 焼き付け
 ・硬質アルミニウム製 (受枠硬質アルミニウム合金製) 表面の品質 
 表面の品質
 厚さ
 工法

 生地のまま又は透明塗料塗りの場合
 ・5.5 ・9 ・12 ※A種

 ※ラフン程度
 ・7
 (14.) ガラス 建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示(建具表)による。 ※パネル式 ステンレス製(受枠ステンレス製)SUS304 (5. 14. 2. (2)) (5. 14. 3) 材種 ガラス留め材 21. 鋼製書架及び ※ラワン程度・( 建具の種類 アルミニウム製 種 類 規格等 類 ※シーリング材 (SR-1) ・ グレイジングガスケット ・スタッドパネルゼ 耐荷重による種類 不透明塗料塗りの場合 、 ボルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 鋼製、ステンレス製 ※シーリング材 (SR-1) JIS S 1039による ※しな程度・( 品質JIS A 6512によるもの又は評価名簿によるもの - 细製物品棚 ※グレイジングガスケット ・ ( 及 スライディングドア) ただし、防火戸は建築基準法に基づく個別認定品とする。 22. 旗ざお 材種 ※アルミニウム製・( Γ20, 2, 4 I 
 表面板
 仕上げ
 パネル厚
 遮音性

 鋼板
 ・焼付け
 ※60・80・100
 ・一般タイプ

 ( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( )
 ・ 適音タイプ
 ・テーバー式 ・同一断面 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ( 1. 既存床の撤去 合成樹脂塗床材の除去工法 形式 ・ロープ式 ・ハンドル式 パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 (6. 13. 2) 並びに下地補修 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 寸法・( %F☆☆☆☆ • ( 品質 評価名簿による 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、フタル酸ジーn-ブチル及びフタル酸ジー 2.)接着剤 23. 旗ざお受金物 材種 ※ステンレス製(市販品) SUS 304 ・ ( 他 4. トイレブース 仕様 Γ20. 2. 5 ι ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ( 施工箇所 品質 ステンレス流し台 仕様・寸法( ) (6. 14. 2) 24. 流し台ユニット 2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。 ・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ ( 防火性能の種類 コンロ台 防火性能の種類 ・不燃 ・準不燃 ・( ) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆ ( ホルムアルデヒドの放散量 ※F★☆☆☆ 部 材 ① アルミ製 ・ ステンレス製 ・ ( 附属金物 ※ステンレス製 ・ ( 吊戸棚 (3.) ビニル床シート張 水切棚 | 材 種 | 種 類 | 記号 | 色柄 | 厚さ | 工法 | 特殊機能 | 債 考 | ビニル床 | 発発層のないもの | ※FS | ※無地 | ※2.5 | ※熱溶接 | ・帯電防止 | ※売し、 ・発砲層のあるもの | ・(・) ・模様 | ②2.0 | ・突付け | ・耐動荷重性 | · 不燃 · 準不燃 · ( ) 25. 視覚障害者用 ・不燃 ・準不燃 ・( ) 施工箇所 材 質 寸 法 誘導床材 ・ セラミックタイル ・300角 ・( ) 無ゆう 黄色 5. 手すり 防滑性 「20. 2. 6」 ・ ビニル床タイル ・300角 素地ごしらえの種別 (6. 14. 3) 真鍮製 ·耐薬品性 種類 材料の種別 表面処理 点字鋲 モルタル及びプラスター面 · A種 ※B種 

 ※ステンレスSUS304
 ※ 比程度
 ・ 鏡面仕上げ

 ・鉄
 亜鉛めっき
 外部
 ※C種

 コンクリート製 コンクリート面 A種 ※B種 4. ビニル床タイル張り せっこうボード面 ・ A種 ※B種 形状 厚さ 色柄 内部 ※E種 材 種 (26) 既製フェンス ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス 

 樹脂塗装メッシュフェンス 13. タイル張り 施工業者 ※内装専門業者とする ・ ( ※コンポジションビニル床タイル(半硬質) ※300角 ※2.0 鋼管フェンス うわぐすり 役物 色 見本 きじの質 形状・寸法 I 類 I 類 I 類 無ゆう 施ゆう 有 無 標準 特注 焼き ・コンポジションビニル床タイル(硬質) - ( ) -3.0 施工箇所 備者 6. 階段滑り止め 金属製 材 種 ※ステンレス製(SUS304) ・ 真鍮製 Г20. 2. 7」 27. かぎ箱 ※鋼製市販品 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・ホモジニアスピニル床タイル ) 図示による 形 式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ タイヤなし幅 ※35 ・ ( ) タイル ・帯電防止ビニル床タイル(置敷タイプ) 種類 ※コンクリートブロック製(市販品) ※500角 ※2.0 28. 敷地境界線 ・ホモジニアスピニル床タイル (パネルー体タイプ) ・ ( ・花こう岩類の石材(文字記号等入り) 取 付 ※接着工法 ・ ( 帯電防止ビニル床タイル(置敷タイプ)の接着剤は粘着剥離形とし、製造所の指定する 29. 屋外掲示板 磁器製 幅 ※60 ・( ) 製品とする。 施 錠 ※あり ・なし 防滑性床タイル ※図示による ・( ) 階段手すり 材 種 表面仕上げ 直径(mm) 14. 断熱材 Г19. 9. 3. 30. 車止め支柱 材種 ※ステンレス製(上下式鎖内蔵型) ・ ( (6, 8, 2) 打込み断熱材 材種 ※軟質 ・硬質 ※集成材 ※クリアラッカー ・60 ・45 5. ビニル幅木 形状 ※スプリング付き ・ スプリングなし ・ステンレスパイプ ・HL 厚さ ※1.5 ・ ( ※押出法ポリスチレンフォーム ※2種b-A・( · 25 · ( 高さ ※60 ・75 ・100 ・( 
 ※押田法示リステレンフォーム
 ※Zetura・( , , , , , , , )

 断熱材
 ・3種b-A (接地部分)

 ・硬質ウレタンフォーム断熱材
 ・2種 ( ) 号 ・ ( ) ・ (
 細製バイプ • FP-G 31. 新聞受・郵便受 ・ビニル製 32. 木製家具 家具専門メーカーの製作品とする。 6. カーペット敷き 織りじゅうたん (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)(表6.9.2) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆ ・( 33. 収納·収納家具 合板類 床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。 施工簡所 7. 床目地棒 Г20. 2. 8」 ポルムアルデヒド放散量 ※F★☆☆☆ · ( ミディアムデンシティファイバーボード (MFD) 及びパーティクルボード ※ステンレス製6×12 ・ ステンレス製4×12 ・ 黄銅製4×12 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ( ※福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する。 8. 黒板及びホワイ Г20. 2. 9」 ※3kw以下 · ( 現場発泡断熱材(吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材) Г19. 9. 4」 ※反毛フェルト(JISL 3204)第2種2号(厚8) ボード | (34) 施工中の安全管理 | 接着剤及び塗料の配付にあたっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な ・図示による 燃焼性 ※評価名簿による Г20. 2. 10 г 乾燥時間を取るものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、 縁 ※なし・あり( 9. 鏡 タフテッドカーペット · 25 · 
 パイル形状
 パイル長
 工法
 債 考

 ・カットパイル
 ※5~7 · ( )
 ※金面接着工法
 人体帯電圧

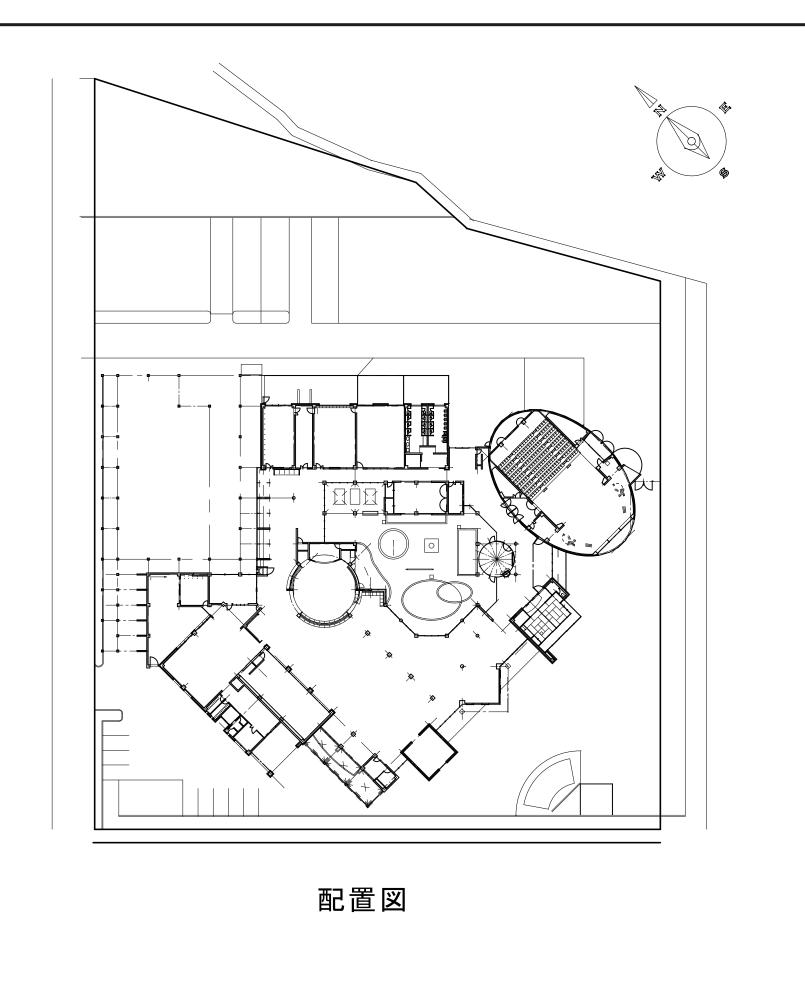
 ・マルチレベルループ
 ※4~6 · ( )
 ・グリッパー工法
 ※3kw以下 · ( )
 室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。 備考 施工箇所 ※窓回り等の断熱補修部分 10. 表示 ※図示による Г20. 2. 11 Ј 15. 吸音材 1. 材料 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を 高質・規格

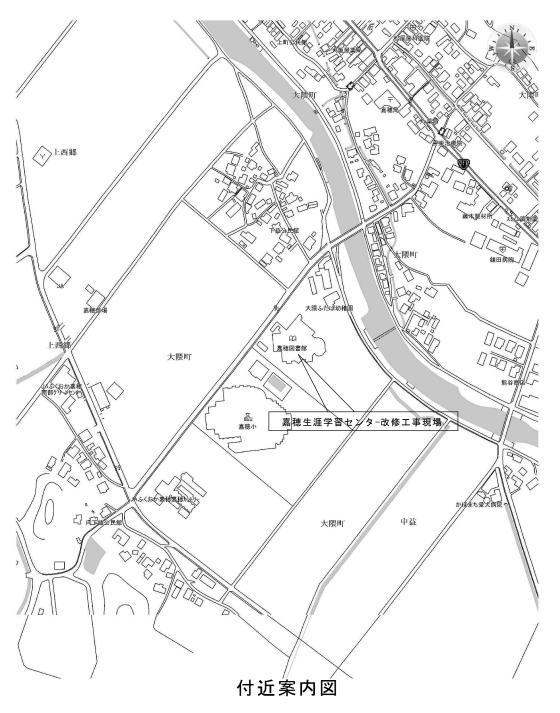
ロックウール吸音ボード 1 号 (60K) RW-B 25 ・(
※9 ・( 下記による 受けたものとする。 ・レベルループパイル ※4 ・( 塗料は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。 ○ロックウール吸音材 ロックウール化粧吸音板 DR カット、ループ併用・ ( ・ ステンレス製市販品 ・ ( 衝突防止表示 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ( グラスウール吸音ボード 2 号 32K GW-B ※25 (6.9.2) (6.9.3) (6.9.4) (表6.9.2) 非常用進入口の表示・ 市販品 ・ ( 
 イルカーペット
 (b. 9.2) (b. 9.3) (b. 9.4) (表6.5 種別 バイルの形状 寸法 総厚さ 色柄 電気抵抗 ※一種 ※ループパイル ※500角 ※6.5 ※無地 ※適用しない
 ・ (一社) 日本塗装工業会の会員 ※監督員の承諾する塗装業者 ē (2.) 塗装業者 室名札 ステンレス製・( ) ・ ( ) ・面付 ・持出し ガラスクロス張りグラスウール吸音ボード(910\*1820)の取付け工法 ・ピクトグラフ ステンレス製・( )・( ) 数 3. 下地調整 (表7.2.1)~(表7.2.7) ポリプロピレン及びプラスチックファスナー留め 4本/㎡程度以上 ・案内板 ・二種 ・カットパイル ・( ) ・( ) ・模様 ・10<sup>2</sup> Ω以下 · ステンレス製 · ( 備考 ・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) 畳下地 厚さ ※40 ・65 ・80 フローリング類 厚さ ※80 ・95 16 ポリスチレン (6.10.2)(6.10.3)(表6.10.3~7) 7. 合成樹脂塗床 フォーム床下地材 ※RB種 · RC種 ・鉄鋼面 RA種(新規不透明塗料塗りの場合) 
 種 別
 仕 上 げ の 種 剣

 ・弾性ウレタン樹脂系
 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
 建築工事監理指針「14.2.3」「表14.2.6」施工箇所 11. タラップ Г20. 2. 12」 . ステンレスの表面 **新州** 漆床材 種類 材料の種別 表面処理 ・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ※薄膜流しのベ仕上げ ・厚膜流しのベ仕上げ (※平滑・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ (※平滑 ・ 防滑) ・薄膜型床塗仕上げ ※ステンレスSUS304 ※ 研磨なし ※ヘアライン程度・下記以外の見え掛かり全て ※RB種 - RC種 塗床材 ・ タラップ ・鉄 亜鉛めっき 内外部 ※C種 ・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ・ No. 2 B程度 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 鏡面仕上げ プラスター面 ※RB種 - RC種 ○コンクリート面及び 8. フローリング張り (6.11.2~7) (表6.11.1~6) ALCパネル面 %RB

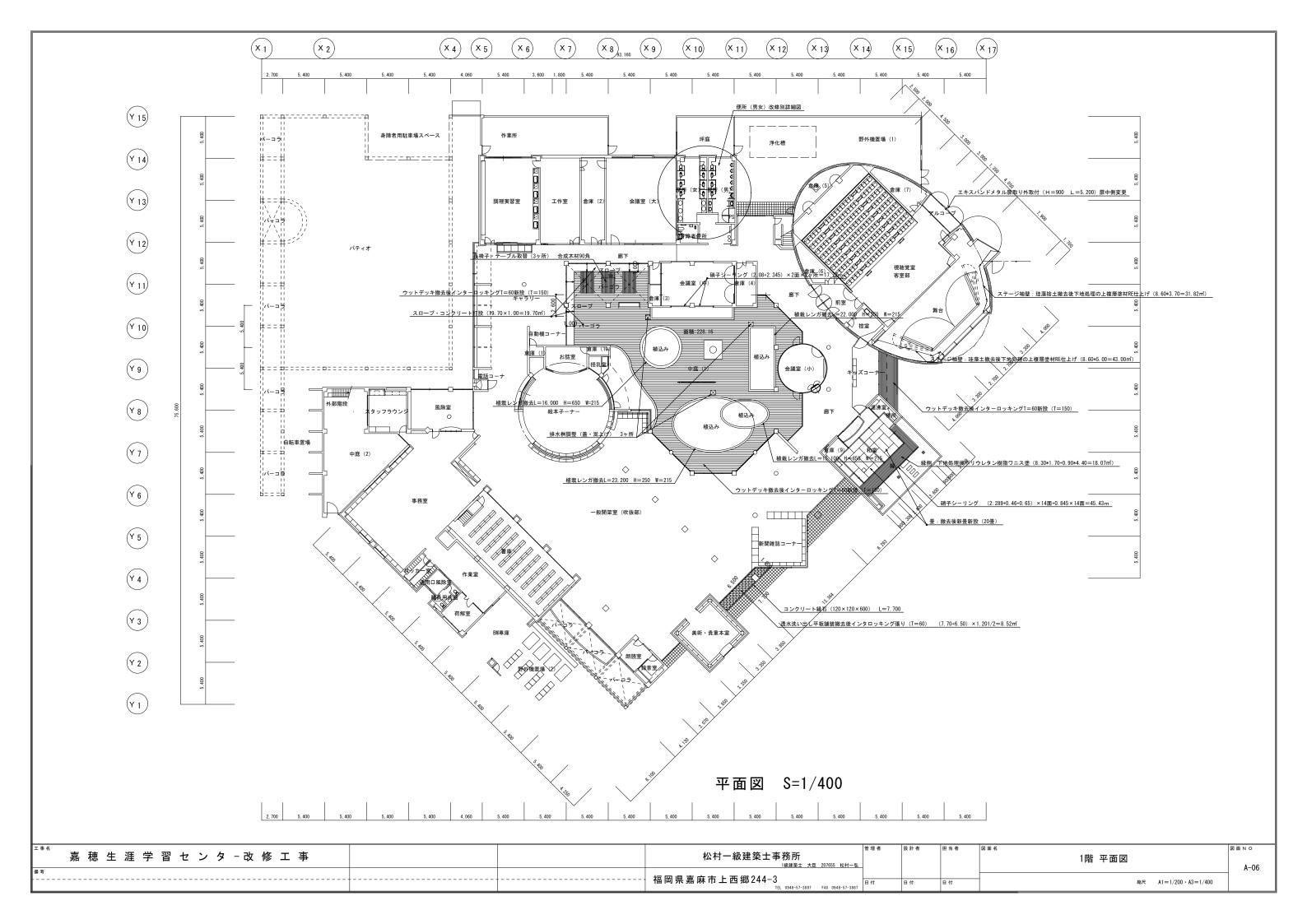
₹RC

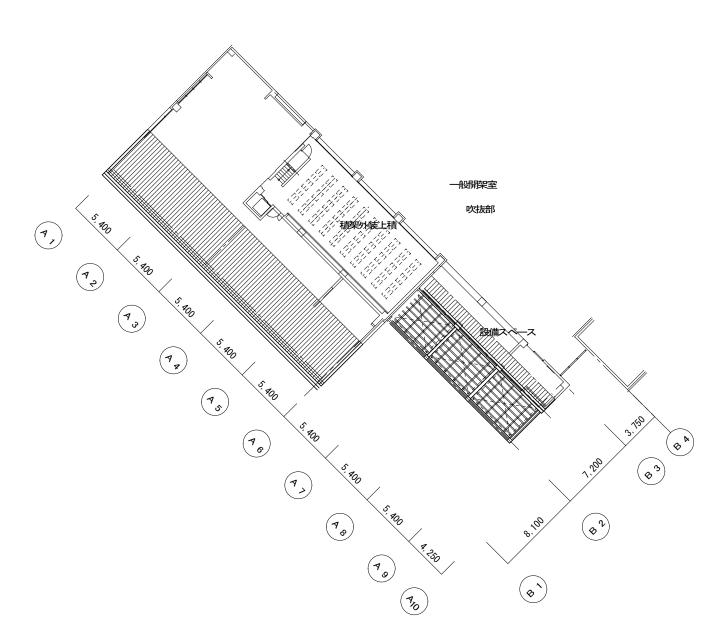
₹ 2. アルミニウム及び 「14.2.1」「表14.2.1」 12. 煙突ライニング ・煙突用成形ライニング材 Γ20. 2. 13 ι 厚さ・大きさ ・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) ・押出成形セメント板面 塗 装 類 別 樹種 工法及び寸法 アルミニウム合金の 備考 適用安全使用温度 ※650℃ ・ ( )℃ - RC種 表面処理 ※複合フローリング ※なら ※釘留め工法 ※塗装品 ・RA種 (新規不透明塗料塗りの場合) キャスタブル耐火材 ブラウン系ブラックステンカラー - BB-2種 ・( )・( )・A種 ・B種 ※C種 幅 ・75 ・90 ・接着工法 長さ・ 以上 ・無塗装品
※図示による 製造所 ※監督員の承諾する製造所 ・ ( )同等以上 - RC種 13. ブラインド 「20. 2. 14」 3. 鉄鋼の亜鉛メッキ 「14.2.2」「表14.2.2」 ※模型ブラインド(JIS A 4801) ・縦型ブラインド 施工箇所 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆ ・ ( 亜鉛めっきの種別 備考 溶融·A種 ·B種 ·C種 JIS H 8641 9. 体育館用 電気・D種 ・E種 ・F種 JISH 8610 接着剤 ・エポキシ樹脂系 ・ウレタン樹脂系 フローリング張り 事 (4.) 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 表面塗装 ・ ポリウレタン樹脂塗料3回塗り ・ (6.6.2) (表6.6.1) 野稼寺の性短 屋内 ⊗ 19形 ・25形 ・( 屋外 ・19形 ・() 14. ロールスクリーン 材種、品質等( 張り付け ・ 下張り板に接着剤で接着し、隠し釘と脳天釘で止める 下張り板 ・ 1 2 mm以上(木製根太) ※15 mm以上(鋼製根太) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ( 屋外における野縁等の間隔 ( (6. 6. 3) 備考 承認覧 図面名称 厚さ ※1.8 5. 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナの種類 (6.7.3)(表6.7.1) 嘉穂生涯学習センター改修工事 改修工事特記仕様書(3) ※「改修標仕」表6.7.1による ・ 図示による 10. 畳敷き ※別添畳工事特記仕様書による (表6.12.1) 尺度 嘉麻市教育委員会生涯学習課



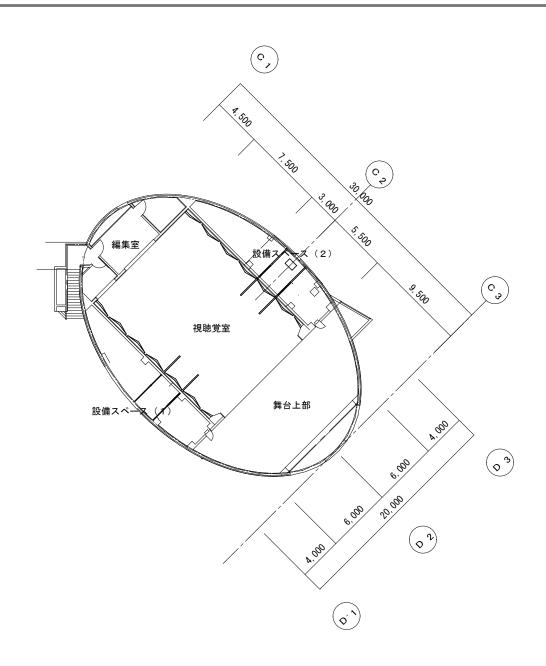


≖ 素 穂 生 涯 学 習 セ ン タ − 改 修 エ 事	松村一級建築士事務所    級建築士 大臣 207655 松村一級	管理者	設計者	担当者	配置図・付近案内図	図面 N O
借考 	 福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL 0948-57-3887 FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	箱尺 A1=1/300	_



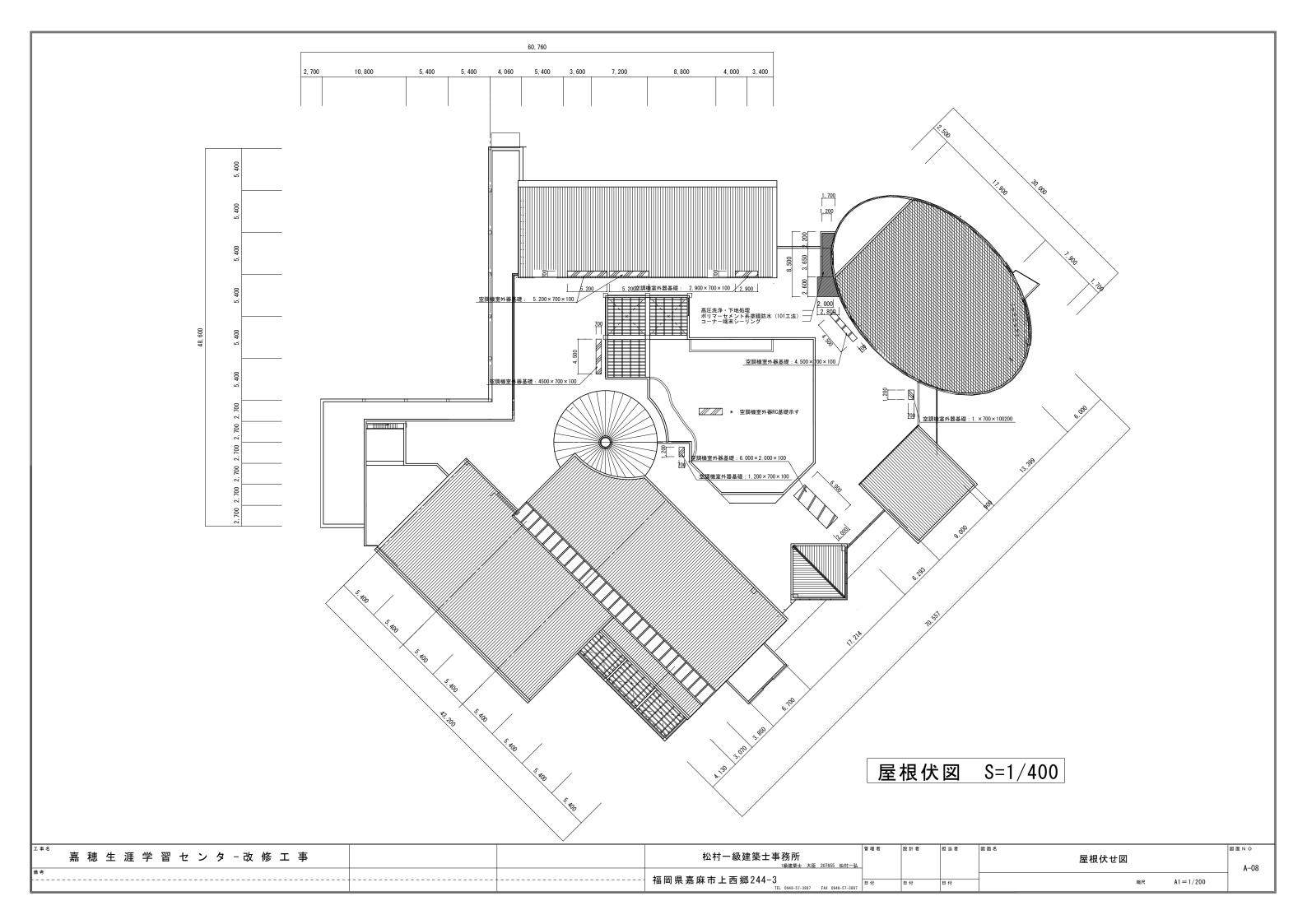


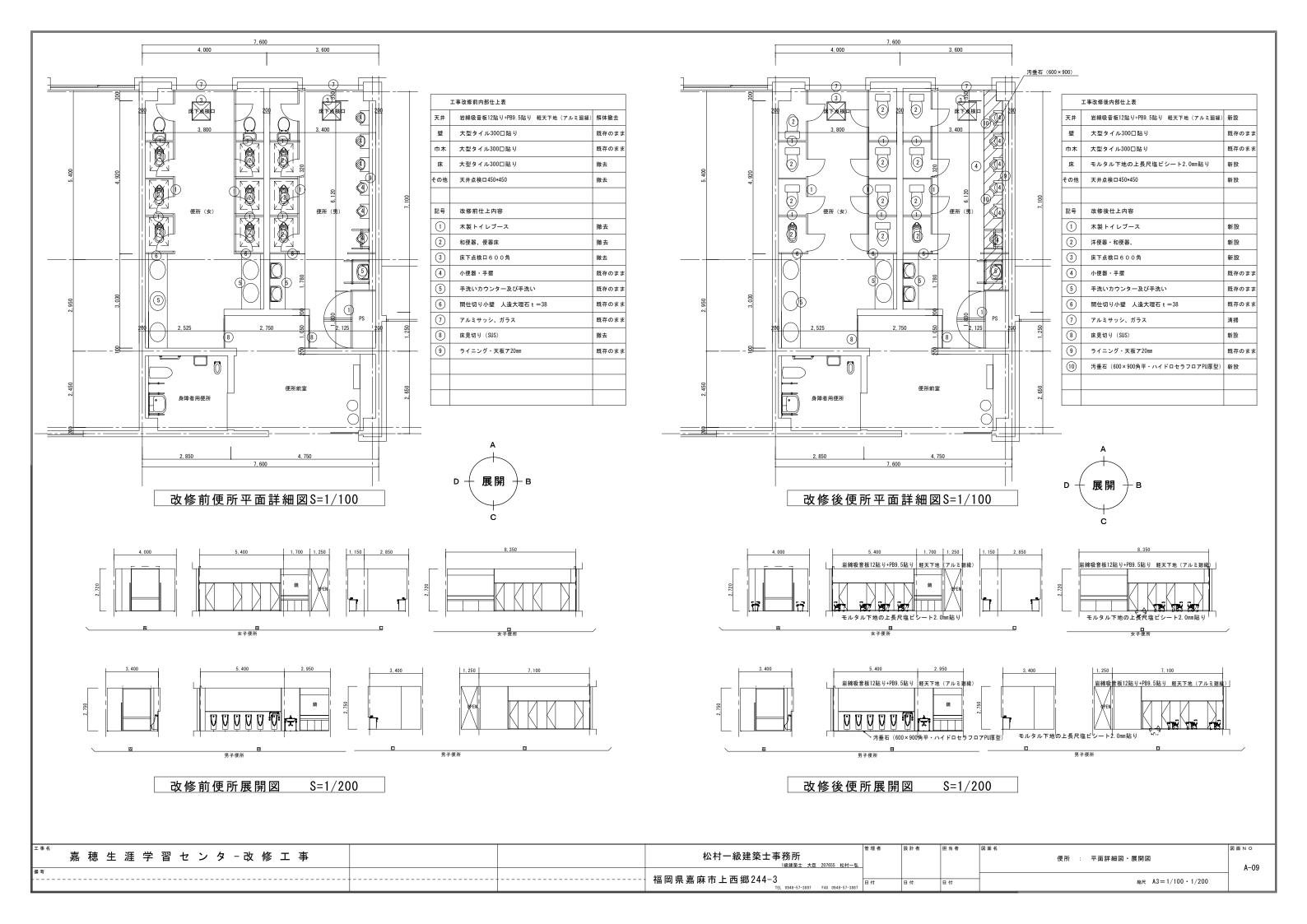
書庫·事務部上部 S=1/500

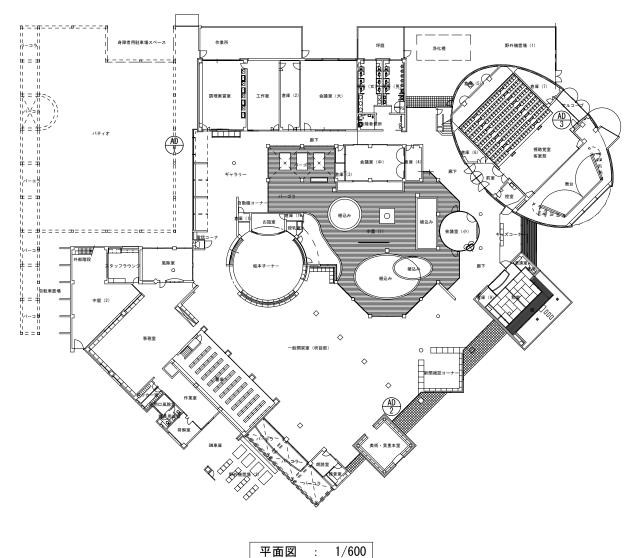


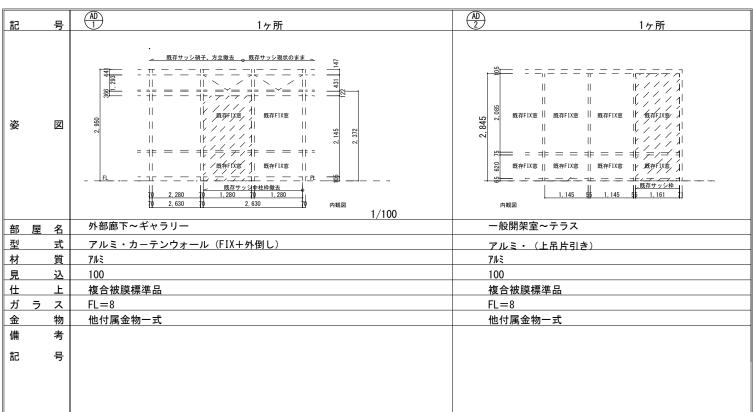
視聴覚部上部 S=1/500

嘉穂生涯学習センター改修工事	松村一級建築士事務所 「級建築士 大臣 207655 松村一弘	設計者 担当者	2階 平面図	図面 N O A-07
[债务]	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL 0948-57-3887 FAX 0948-57-3887	日付 日付	縮尺 A1=1/200	



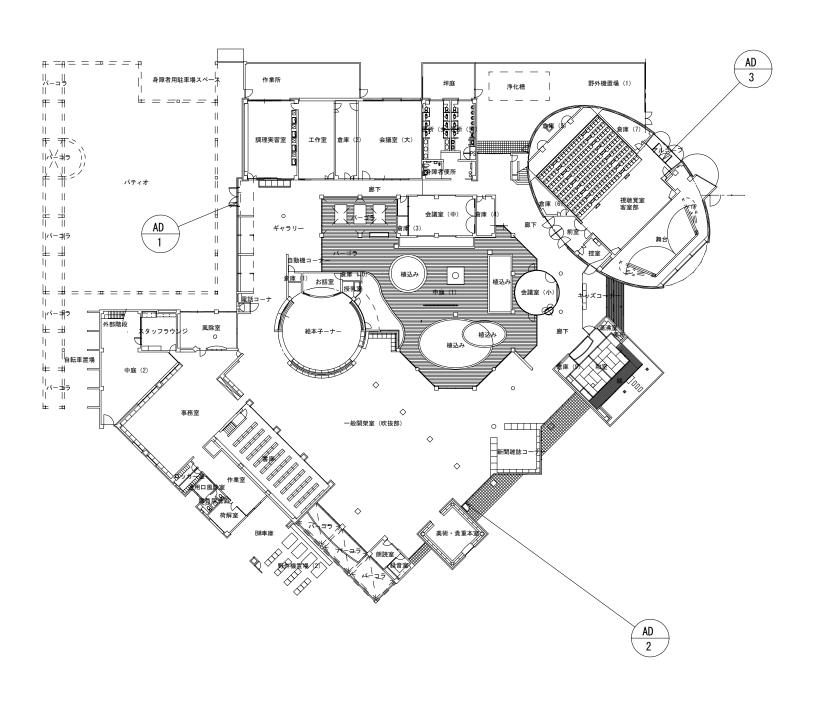






記		号	<del>(AD)</del> 3 1ヶ所
姿		· 図	17 77    17 77
部	屋	名	視聴覚室~アルコープ
型型		式	アルミ・(上吊片引き)
材		質	7118
見		込	100
仕		上	複合被膜標準品
ガ	ラ	ス	FL=10
金		物	他付属金物一式
備		考	
記		号	

嘉 穂 生 涯 学 習 セ ン タ - 改 修 エ 事		松村一級建築士事務所 「総建築士 大臣 207655 松村一弘	管理者	設計者	担当者	<sup>図面を</sup> 既存鋼製建具 配置・建具表(改修部分・改修前)	図面 N O Δ−10	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 	福岡県嘉麻市上西郷244-3  TEL 0948-57-3887 FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	総尺 A=1/600・1/100	A-10	



嘉穂生涯学習センター改修工事	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	鋼製建具配置図(改修後)	図面 N O
债务	福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL 0948-57-3887 FAX 0948-57-3887	日付	日付	日付	総尺 A3=1/400	- 7 ''

# 仕様確認書

本書は下記物件で使用する製品の仕様書です。

	フリナ	ı †														
ェ	事	名	称	嘉穂	 生涯	学習	セン	ター	改作	ー 多工	· 事					 
所	在		地	福岡	県嘉	麻市	大阳	聞12	28≩	≸地	1				₹□	
建	築		主													殿
設			計	松村	一級	建築	生事	務所								殿
監			理	同上												殿
施			エ										殿	TEL		
軒	高			m	地	下		階		地	上	1 階	í	建築	面積	m²
構	造	R	С	造 •	S	R	С	造	•	s	造			延床	面積	m²
納	期		左	F J	1	日	竣工	予定	ĒΒ		年	月	日	用	途	
担当	当会社					営業	EL				設計工	L			施 工 TEL	
物	件	番	号	175-9	01-2	2410H	59-1				•				•	

### 打ち合せ確認事項

(該当項目を〇印等で囲み、必要事項を明記)

) 仕様書(年版)

- 1. エ 事 仕 様
  - 1. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(令和 4 年版)
  - 2. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(平成 3 1 年版)
  - 3. ( 4. 当社標準仕様
- 2. 性能

性	能項	目	指定性能	フロント製品	備考
1.	耐压	证	S-3 (1600Pa)		
2	気	密	A-4(4等級線)		
3.	水	密	W-5 (500Pa)		
4.	遮	音			
5,	断	熱			
6.					

- 3. 防火設備
  - ①. 無し
  - 2. 有 り ※該当窓は建具配置図及び姿図内部品欄に明記
- 4. 非常用進入口
- (7). 無し
- 2. 有 り ( a. 硝子粉砕 b. 内外連動ハンドル )
- 5. アルミ材の表面処理

表面処理はJIS H8602:2010の規定に基づいて、陽極酸化塗装複合皮膜処理を施す。  $\Box$ A 1  $\Box$ A 2  $(\overline{\Box}$ B  $\Box$ (プレアルマイト)

		(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	色名称	色コード
	シルバー	YS1N
標 準 カラー	ブロンズ	YB1N YB5N
	ステン	YH1N YH3N
	ブラック	YK1N
	陽極酸化皮膜	色コード ( )
		- 指定膜厚( ) ー( ) μ m
+ <i>f</i>	陽極酸化塗装複合皮膜	プレ ・ ポスト
オーダー仕様	焼 アクリル樹脂塗装	<b>塗料メーカー</b> ( )
	付 ポリウレタン樹脂塗装	色NO. ( )
	焼 付 ポリウレタン樹脂塗装 フッ素樹脂塗装	艶 ( )分艶
	膜	膜厚( )μm ( )コート( )ベーク
色	見本	有 ・ 無

#### 6. 鋼材・鋼板の表面処理

製品区分	仕上げ	処 理 区 分
補強板、力骨、アンカー	-	1. 当社標準仕様 4. 鋼材・鋼板の表面処理 による。
プレートの類		2. (
	現場塗装	1. OP(油性調合塗料) / YKK AP工事範囲:JPMS 28(一液形変性エポキシ樹脂さび)
   膳板、額縁、ブライン		2. ( ) 上止めペイント)に規定する塗料、又は同等品による防錆処理を施す。」
ボックスの類	工場焼付塗装	1. アクリル樹脂塗装
ハックへの短		2. ( ) ( )分艶 膜厚( )μm ( )コート( )ベーク
		色 見 本 無 · 有

#### 7. 付属 金 具 等 (オーダー仕様の場合はメーカー・品番を明記)

品 名 等	標準仕様	オーダー	-仕様
	1. ニュースター 2. リョービ 3. 美和		
	1. ダイヤモンド 2. ニュースター 3. リョービ		
錠前	①. 美和 2. ゴール ( 型) ( 型)		
マスターキーシステム	1. 無し 1. マスター 2. グラ 2. 有り( a. 新規 b. 既存 ) 4. コンストラクション 既存マスターキー番号 1. マスターキープラン参照 2.	5. (	3. 逆マスタ- )

	メーカー	1.	オイレス	2. 豊和	3. ゴール	4. (	
排煙装置	機種			_	開閉	1. 手動	2. 電動
17/ 柱衣但	本 体	: 1.	露出	- 2. 隠ぺイ	配管・ボックス	1. 露出	2. 埋め込み
	開き角度	1.	4 5 °	2.60°	3. (	)	

※詳細品番は、各窓の姿図内部品欄に明記

- 8. 防虫網 ※ その他 (
  - 1. ポリプロピレン ブラック・( )メッシュ18 線径0.25mm 2. ステンレス メッシュ18 線径0.20mm 3. グラスファイバー ブラック・( )メッシュ18 線径0.28mm
- 4. クリアネット(ポリプロピレン) ブラックのみ
- 9. グレージング方法 1. ガスケット 非防火設備用
  - 防火設備(建築ガスケット工業会指定)
  - (2). 弾性シーリング材・ 非防火設備用
    - 防火設備(日本シーリング材工業会指定)
- 10. エ 場 先 打 ち シ ー ル
  - ①. 無し
  - 2. 有り

• 種類	1.	2成分形ポリサルファイド系	[P	s-	-2]	2.	2成分形シリコーン系 [S	R – 2
	3.	2 成分形変性シリコーン系	[M	s-	-2]	4.	その他(	
・メーカ	_	(	)		品名	(		)
・色		(	)		プライマー	. (		)

※詳細は図面に明記

- 11. 養生
  - 1). 普通養生
  - 2. 打込養生 ※養生方法は図面内に明記

( a. ポリエチレンフィルム b. 塩ビフィルム )

- 3. その他 ※養生方法は図面又は、製作要領書に明記
- 12. 工事区分

下記項目は当社別途工事とします。尚、詳細は契約書を御参照願います。

数しる制化 セフレンエイトン 却化放回しる きゅしゃ オロイナリー 仏ナリ

- ・サッシ取付用インサート金物
- ・サッシ取付用下地鉄骨及び孔明け加工

メッシュ24 線径0.15mm

- ・サッシ取付用先付アンカーの取付工事・躯体及びガラス取合部のシーリング工事
- 木額止め用木ネジ
- ・サッシ取付後の製品養生

#### 特 記 欄 (注意事項)

弈	十.	Įυ	リ	哭	17	•	),	他.	_	١.	_!	හ	岁	. (	: /	Ά.	l	ξ۱	Æ;	ľIJ	車	3   3	田:	ሃኮ	כט	詩	- 前	Щ1	٦.	奓	有	N/Z	1 (	ž (	め	り	•	术	洲	ょ	り	•	١,	7.	女=	₹
				-		-			_			-		_	-		-	_		-	-		-		_		-		-		-		-		_			-		-						1
				_		-			_			_		-	_			_			_		-				-		_				_		-			_								1
		-		-		-			-			-		-	-			-		-	-		-				-		-		-		-		-			-		-						1
				_					_			_			_			_			_								-				_					_								1
																																														1
				-		-			-			-		-	-			-			-		-						-				-		-			-								1
									_			_			_			_			_								_											_						1
																																														1
_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_			_		_		_

## 当 社 標 準 仕 様

1. 適用範囲

当社で製作する製品に適用する。 本仕様に明記していない事項については、当社社内規格によるものとします。

- 2. 材 料
- 2-1 主要材料

使 用 区 分	材 料			規	格		材	質			
枠及び障子(框、   桟)の類	アルミニウム 合金押出形材	JIS A606	H4100 3S-T5	) (アル: 5 又は	ミニウム 相当す	及びアノ るものと	レミニウ. :する。	ム合金技	甲出形材)	に規定す	-る
枠及び障子の	アルミニウム 合金押出形材		H4100								- [
補助材料	アルミニウム 合金板	JIS するA1	H4000 100P-	)(アル) -H14	ミニウム 等 又は	及びアノ . 相当す	レミニウ. 「るもの	ム合金( とする。	の板、及	び条)に規	淀
補強板、アンカー プレートの類		JIS 圧延鋼板 SPHC -アルミニウム-	G3131	「(熱間) 帯)、J C、S S : 金めっき	王延軟鋼 IS G 330、 鋼板お。	板、及で 310 <sup>・</sup> SS4(	が鋼帯):   (一般: ) O 、J ) 、J I	、JIS 構造用原 IS G	S G3 王延鋼材) G332 3302	141(冷 ) に規定す 3(溶融亜	間る鉛
小ねじ、タッピン ねじの類	ステンレス鋼	JIS SUS 適合した	G 4 3 1 5 3 0 5 J :線材を使用	5 (冷間) 1、SUS 用する。	王造用ス S X M 7	テンレス 尚、村	ス鋼線) 材料は	に規定で JIS	するSU G43	S 3 0 4 J 0 8 C	3

#### 2-2 付属部品

	使	用 区 分	規格・材質
窓	種	部品	スタイプ スタイプ スター スター・ パー・ パー・ パー・ パー・ パー・ パー・ パー・ パー・ パー・ パ
		グレイジングガスケット	JIS A5756 (建築用ガスケット) に規定する塩化ビニル樹脂等
共 	通	気密材(AT材)	JIS   A5756(建築用ガスケット)に規定する塩化ビニル樹脂、クロロブ   レン等
引	き	クレセント	JIS A5545 (サッシ用金物) に規定するステンレス鋼、亜鉛合金ダイカスト、アルミニウム合金ダイカスト等、及びポリアミド樹脂等
"	J	戸車	J I S A 5 5 4 5 (サッシ用金物) に規定する鋼、ステンレス鋼等   タイヤ部品はポリアセタール樹脂、ポリアミド樹脂等
プロシ		、 丁番	JIS A4706(サッシ)の材料に規定するステンレス鋼等
開回	き転	締り金具及びハンドル	JIS A4706 (サッシ)の材料に規定する鋼、ステンレス鋼、亜鉛合金ダイカスト、アルミニウム合金ダイカスト等

3. アルミ材の表面処理

表面処理はJIS H8602:2010の規定に基づいて、陽極酸化塗装複合皮膜処理を締んたもの を使用します。

4. 鋼材・鋼板の表面処理

補強板、力骨、アンカープレートの類は、SPHC、SPCC、SS330、SS400には JIS H8610 (電気亜鉛めっき) による3級 (片面で8μm) 以上の処理を施したもの、 又はこれと同等の表面処理を施したものを使用します。

- 5. 製作方法
- 5-1 製作寸法許宓美

J	· AXII	1 /AIT1	<b>7</b>			(単位mm)
	項	目		寸	法	許容差
		_			2,000未満	±1.5
枠の	内のり	高さ及	とび幅	2,000以上	3,500未満	±2.0
				3,500以上		±2.5
	_				2,000未満	2. 0以下
対辽	1内のり	り寸法	の差[	2,000以上	3,500未満	2.5以下
				3,500以上		3.0以下
					120未満	±1.0
枠	見	込	み	120以上	150未満	±1.5
17	<i>)</i> [	, <u></u>	7	150以上	200未満	±2.0
				200以上		±2.5

#### 5-2 組 立

枠組立は、各隅部にブチル系等のゴムシーラーを均一に当てタッピンねじで接合します。 障子組立は、タッピンねじ又はコーナーブロックを使用したカシメ等により接合します。

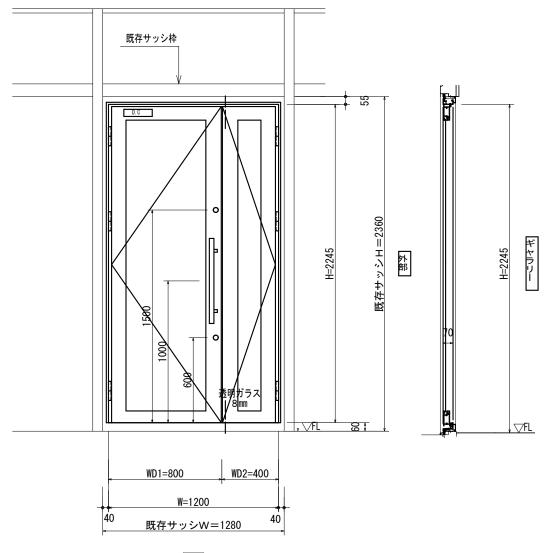
- 寸法等に関し動は責任条負制をお表すたКАР社内業務連絡記入欄
  - 1. 曲げ加工品 (額縁、ブラインドボックス、下地アングル等) 1. 無し
  - (a) 工場製作 b. 一部工場製作 c. 営業手配製作 ) ※1:詳細は手配図面(焼図)に明記 ex. 工場製作→® 営業手配製作→®
  - 2. その他

設監	 計 理	松村一級建築士事務所	工 事 名 嘉穂生涯学習センター改修工事	照査担当化	作 図 受領印	図 番 A-12
施	I	殿				毎し図番 年 月 日 1

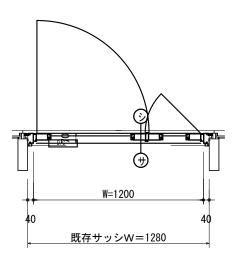
# 建具表

符号	名	称		姿図図番	備考	· 搬 入 方 法																
ריו עו			十九人	W	Н		1 <sub>F</sub>	F F	F	F F	F	F F	F	F F	F	F F	F	F F	F	女四四田	)M 75	
AD-1	親子開き框ドア		70	1200	2245	1	1															搬入方法 一 括 · 分 納
AD-2	ランマFIX付片開き框	ドア	70	1060	2735	1	1															車両制限 11t車・4t車・2t車
AD-3	両袖FIX付き両開き	框ドア	70	4875	2735	1	1															指定時刻 無 ・ 有 時 分着
																						│ 待機場所 無 · 有
																						出荷形態 1. 単品出荷 2. パレット出荷
																						──
																						搬入先の住所及び地図
																						<b>-</b>
									+									+				_
																						-
									-													
																						_
																						_
																						分 納 表
																						モデルルーム 月 日 時 分
																						第 回 月 日     F ~ F 時 分       第 回 月 日     F ~ F 時 分
																						── 第 回 月 日
																						第 回 月 日 - - - - - - - - - - - - - - - - - -
																						── 第 回 月 日
																						第 回 月 日 F~F 時 分
																						── 第 回 月 日
									$\dashv$			++		+				+				第 回 月 日 F ~ F 時 分
									+													第 回 月 日 - F - - - - - - - - - - - - - - - - -
									+													第 回 月 日     F ~ F 時 分       第 回 月 日     F ~ F 時 分
									+													— 第 回 月 日 F ~ F 時 分
亦五司吉						1							1.	_ <u> </u>						昭 杏	担当 作図 受領印	
1							計 理	松	村一級	建築士	事務所			工事名		<b>墓穂生</b> え	涯学習も	センタ	一改修		<u> '' -   </u> 又限 II	A-13
						施	I						殿	図面内容			建具表					通し図番 年 月 日 2
																						4 Л Ц -

# 内観姿図を示す







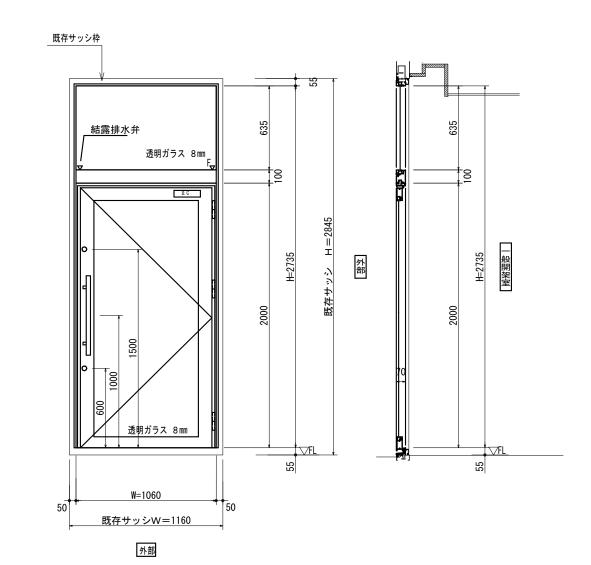
ギャラリー

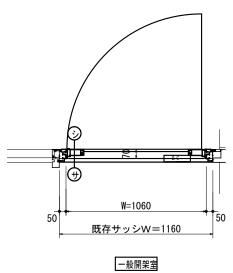
## カバー工法

	建具符号	AD-1			ギャラリー	
	合計数量	1		カラー区分	色未定	
	百計数里	I		製品シリーズ	EXIMA31 (S-3)	
	防火設備仕様	有 •	<b>(</b>	ガラス厚	3 • 4 • 5 • 6 • 6	.8·姿 <b>図参</b> 照
	網戸	有 •	<b>(#)</b>	グレージング方式	ガスケット・	Ðル
	部。	品名		品	番・型式	数量
*	本締り錠		美和	U9DA-1		2
*	押棒		T 570-	-01-023 (^7	ライン L=600)	1
	ドアクロー	-ザ	IJ∃-Ľ F	为付型S付		1
	丁番		ドア用			6
	小口キャッ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	親扉・	子扉戸先側	下部	2
	フランス落	ŧι	上下一	·式		1

嘉穂生涯学習センター改修工事	松村一級建築士事務所 「総雄集士 大臣 207655 松村一弘	管理者	設計者	担当者	鋼製建具図 AD-1	図面 N O
	 福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付	縮尺	A 14

# 内観姿図を示す



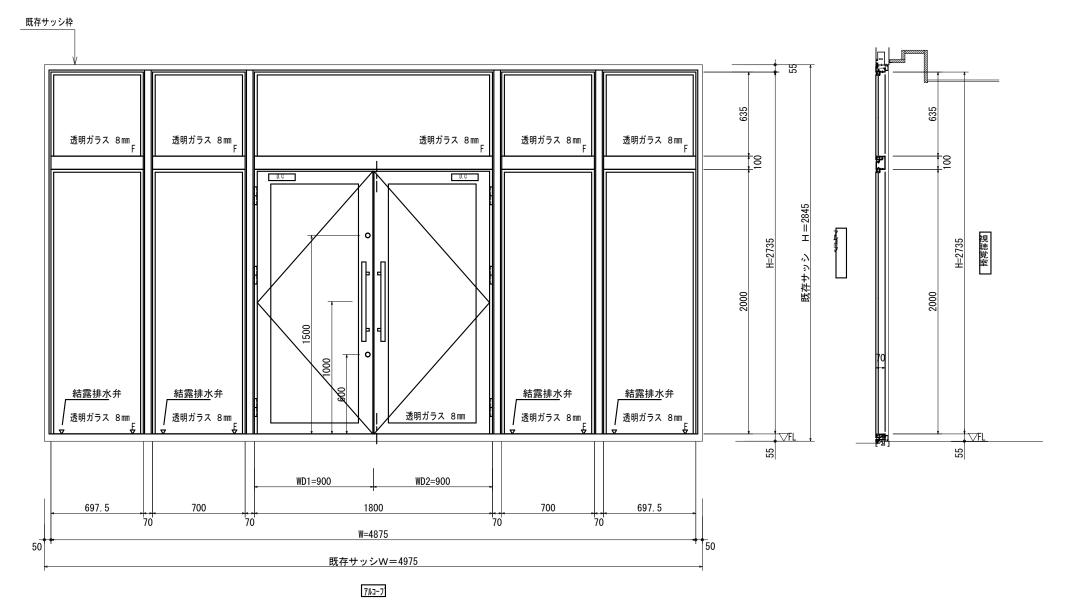


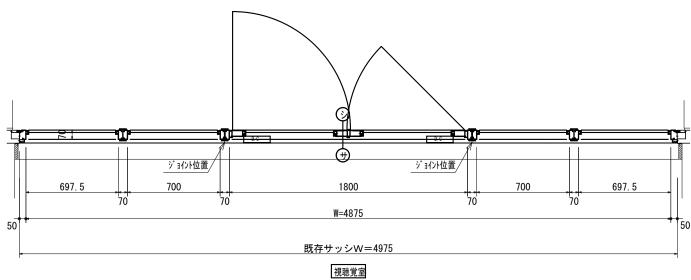
## カバー工法

建具符号	AD-2		取付場所	一般開架室	
<b>∧=1</b> # <b>4</b> □	1		カラー区分	色未定	
合計数量			製品シリーズ	EXIMA31e(S-1)	
防火設備仕様	有·	<b>(</b>	ガラス厚	3 • 4 • 5 • 6 • 6.8	•姿図参照
網戸	有·	<b>(#)</b>	グレージング方式	ガスケット・∜	$\supset$ $\nu$
部品	品名		品	番・型式	数量
本締り錠		美和	U9DA-1		2
押棒		T570-0	1-023 (ステンレス・	^アラインL=600)	1
ドアクロー	-ザ	IJ3-Ŀ゙[	内付型S付バ	ックチェック付	1
丁番		ドア用			3
小口キャッ	プ	戸先側	下部		1
結露排水弁	È	3K3134	11		2

嘉穂生涯学習センター改修工事	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	AD-2 鋼製建具図	図面 N O
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- - 福岡県嘉麻市上西郷244-3 <sub>TEL 0948-57-3887</sub> FAX 0946-57-3887	日付	日付	日付	縮尺	_

## 内観姿図を示す

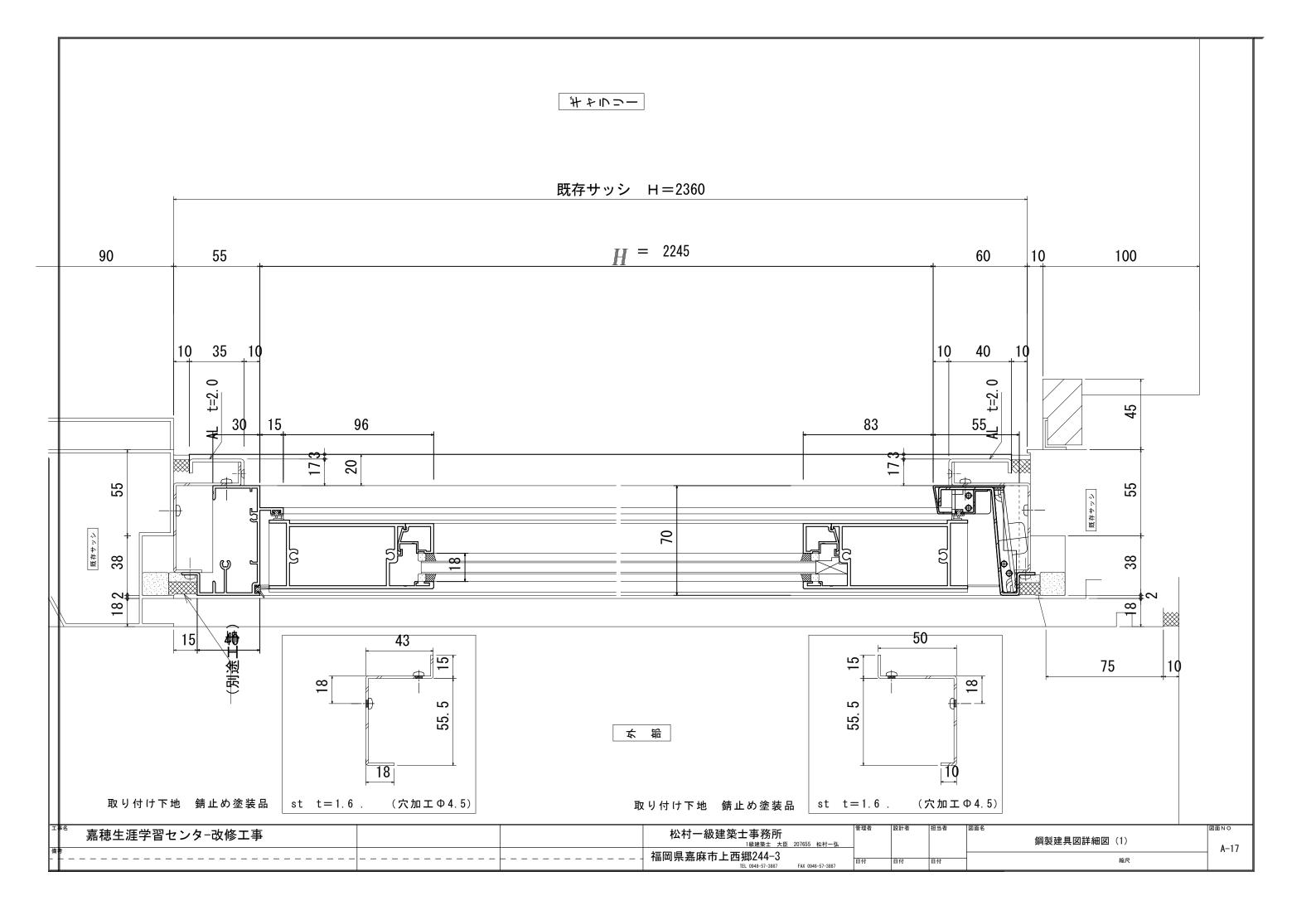


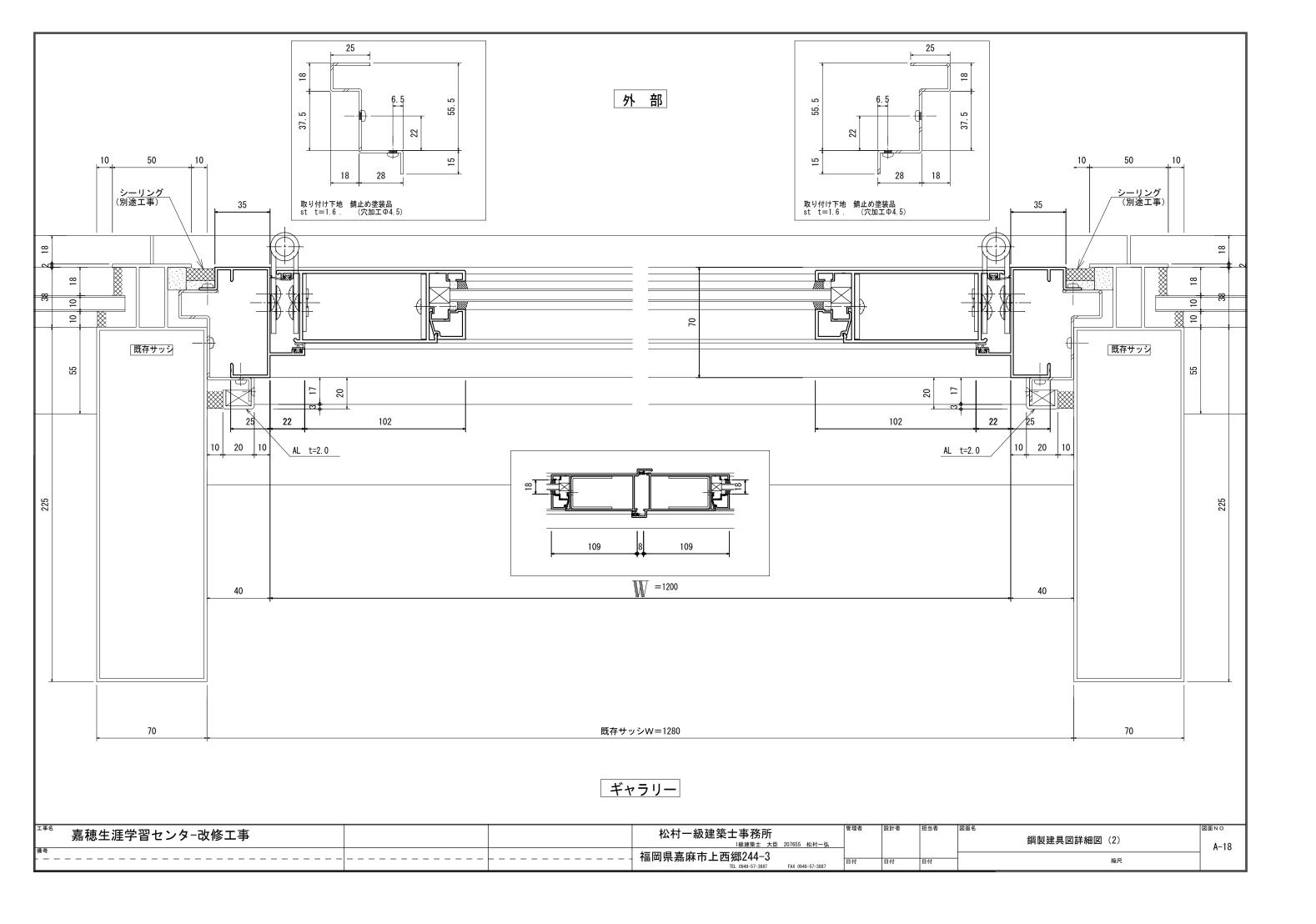


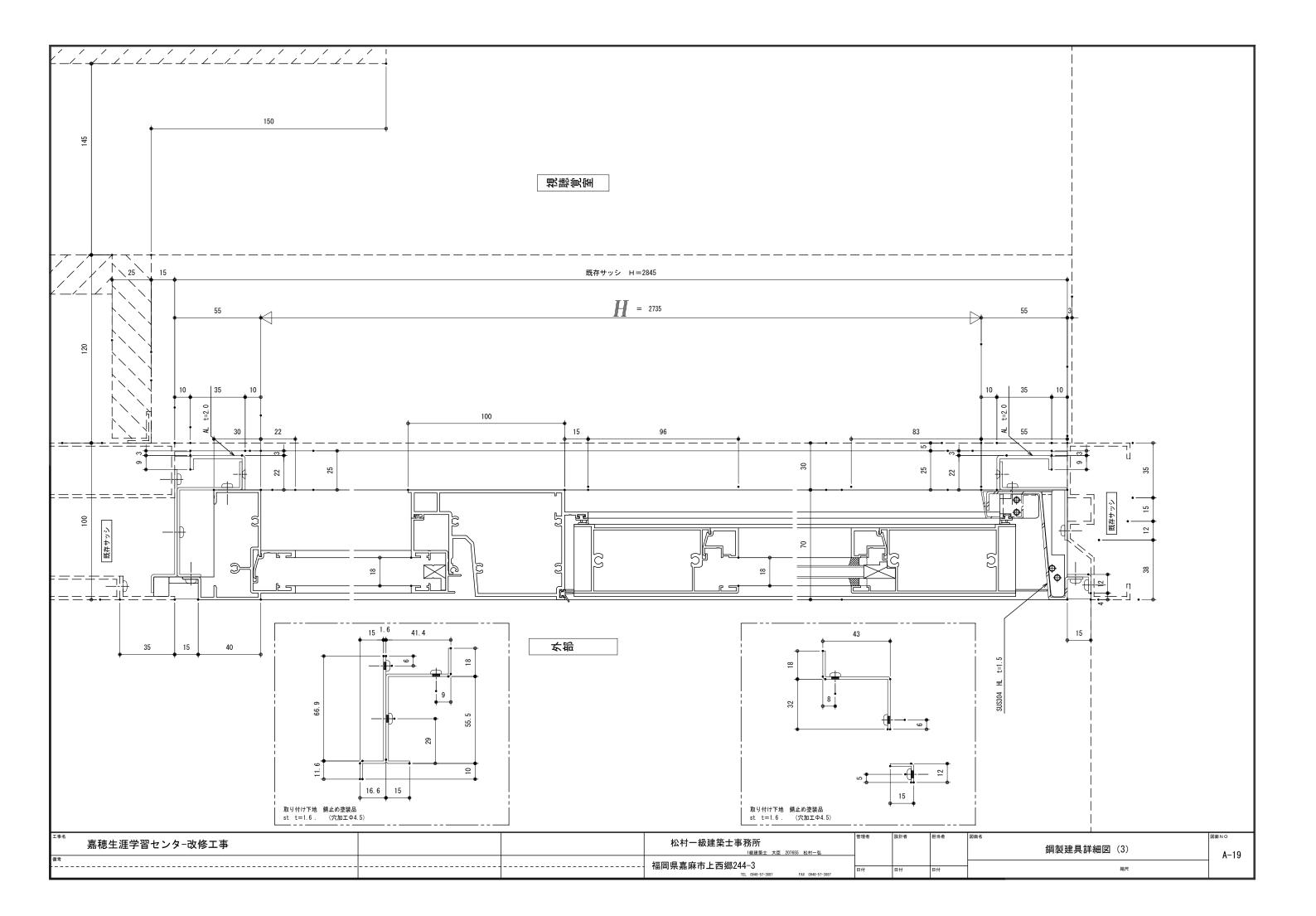
## カバー工法

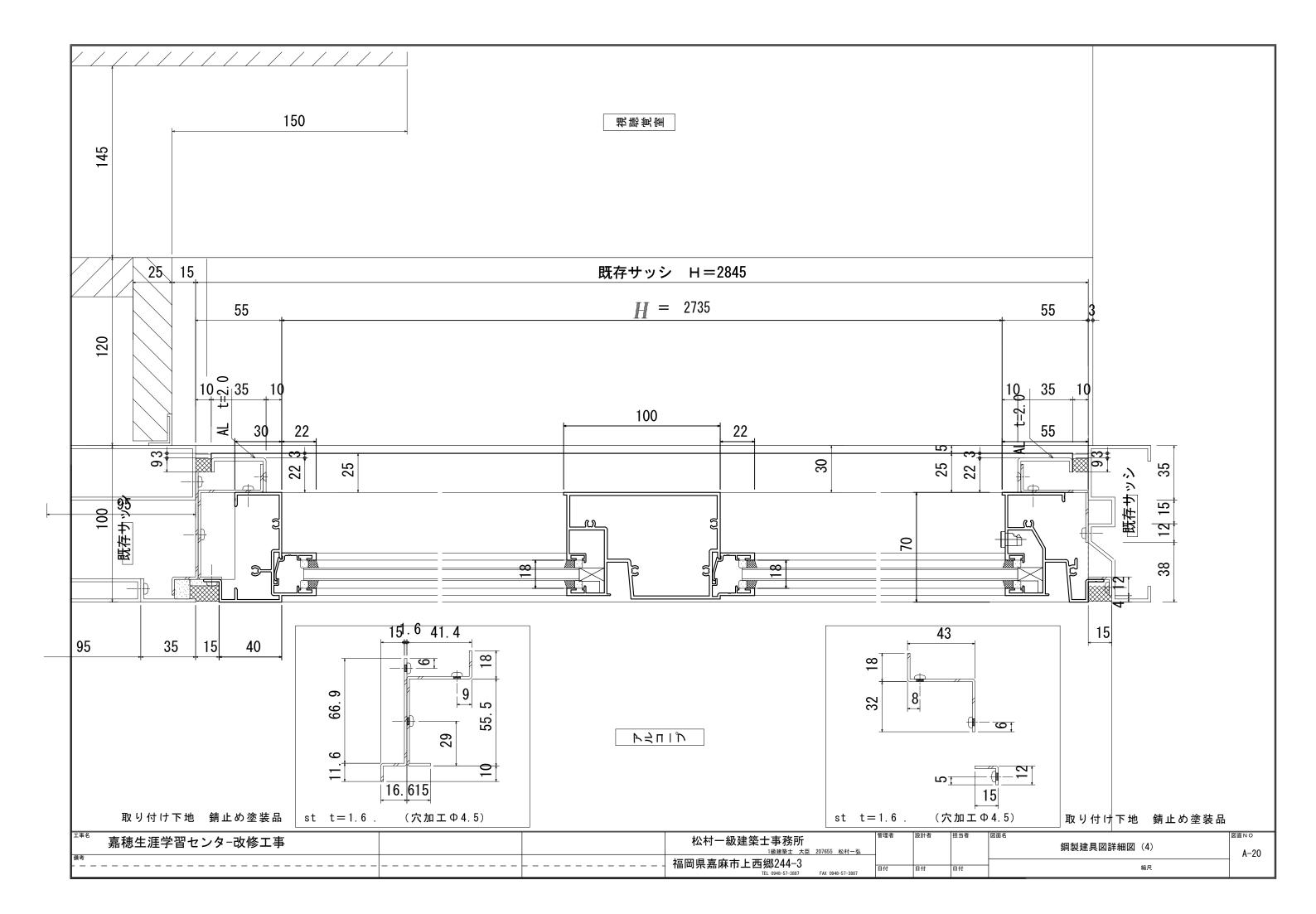
	建具符号	AD-3		取付場所				
	合計数量	カラー区分 色未定						
	口川外王	'		製品シリーズ	(* EXIMA31 (S-3)			
	防火設備仕様	有・	<b>(#)</b>	ガラス厚	[ 3・4・5・6・6.8・姿図♪			
	網戸	有·	<u> </u>	グレージング方式	ガスケット・	<u>Qu</u>		
	部。	品名		数量				
	結露排水弁	Î	3K3134	8				
*	本締り錠		美和	美和 U9DA-1				
*	押棒		T570-0	2				
	ドアクロー	-ザ	IJ3-t* [	2				
	丁番		ドア用			6		
	小口キャッ	プ	親扉·	2				
	フランス落	<b>事し</b>	上下一	·式		1		
						-		

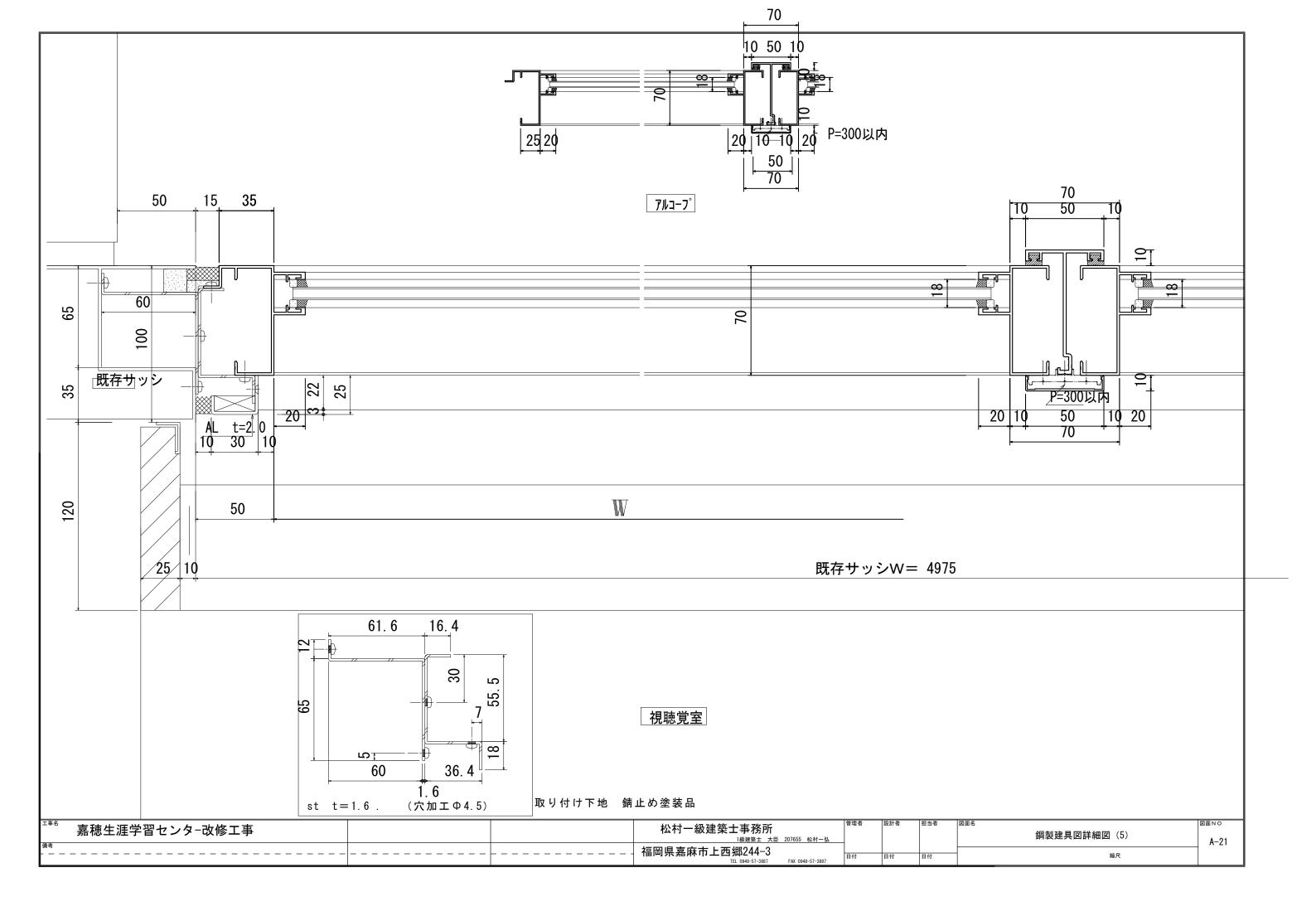
嘉 穂 生 涯 学 習 セ ン タ - 改 修 エ 事	松村一級建築士事務所		設計者	担当者	<sup>図画を</sup> AD-3 鋼製建具図	図面NO
值考	福岡県嘉麻市上西郷244-3	日付	日付	日付		A-10

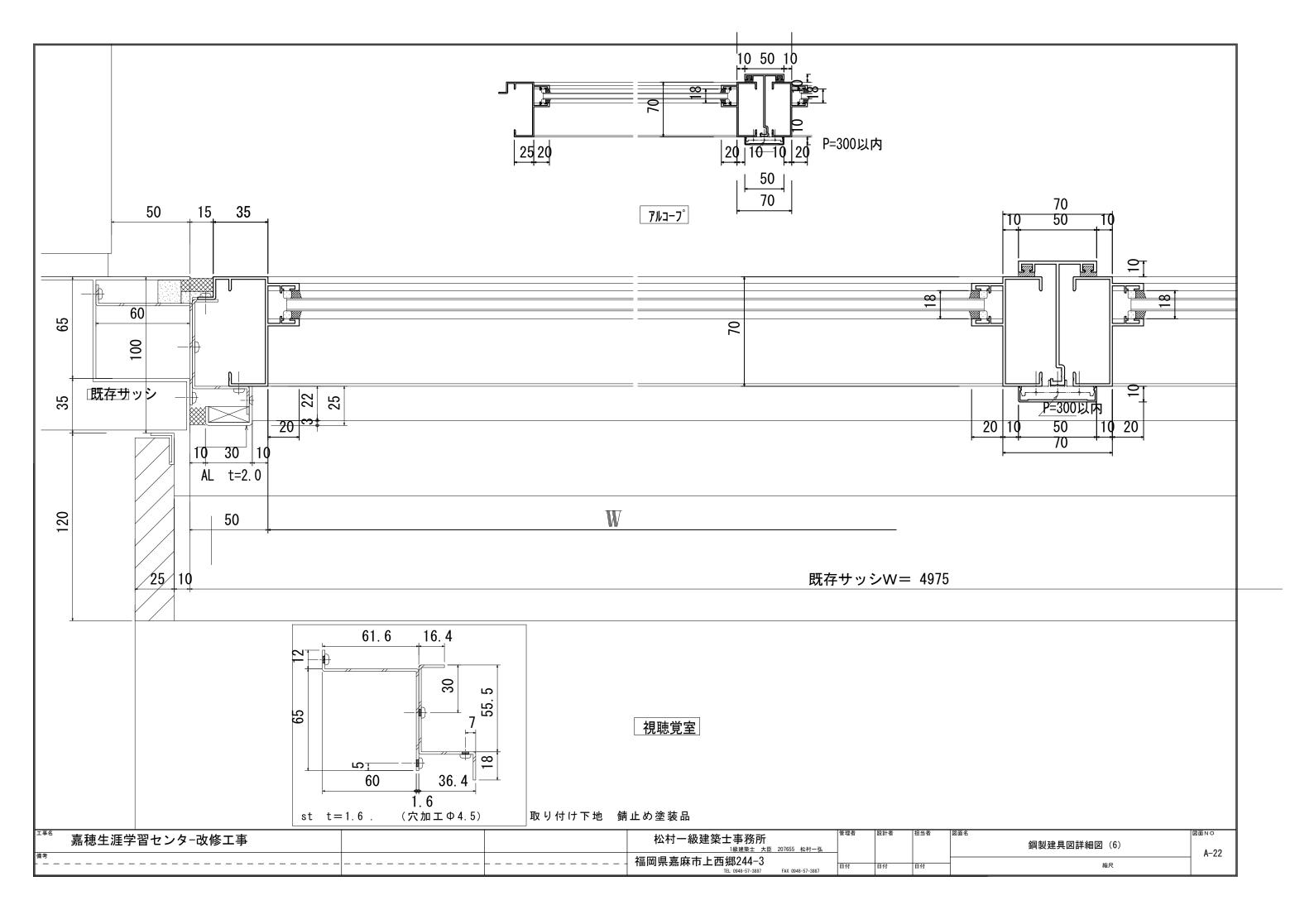


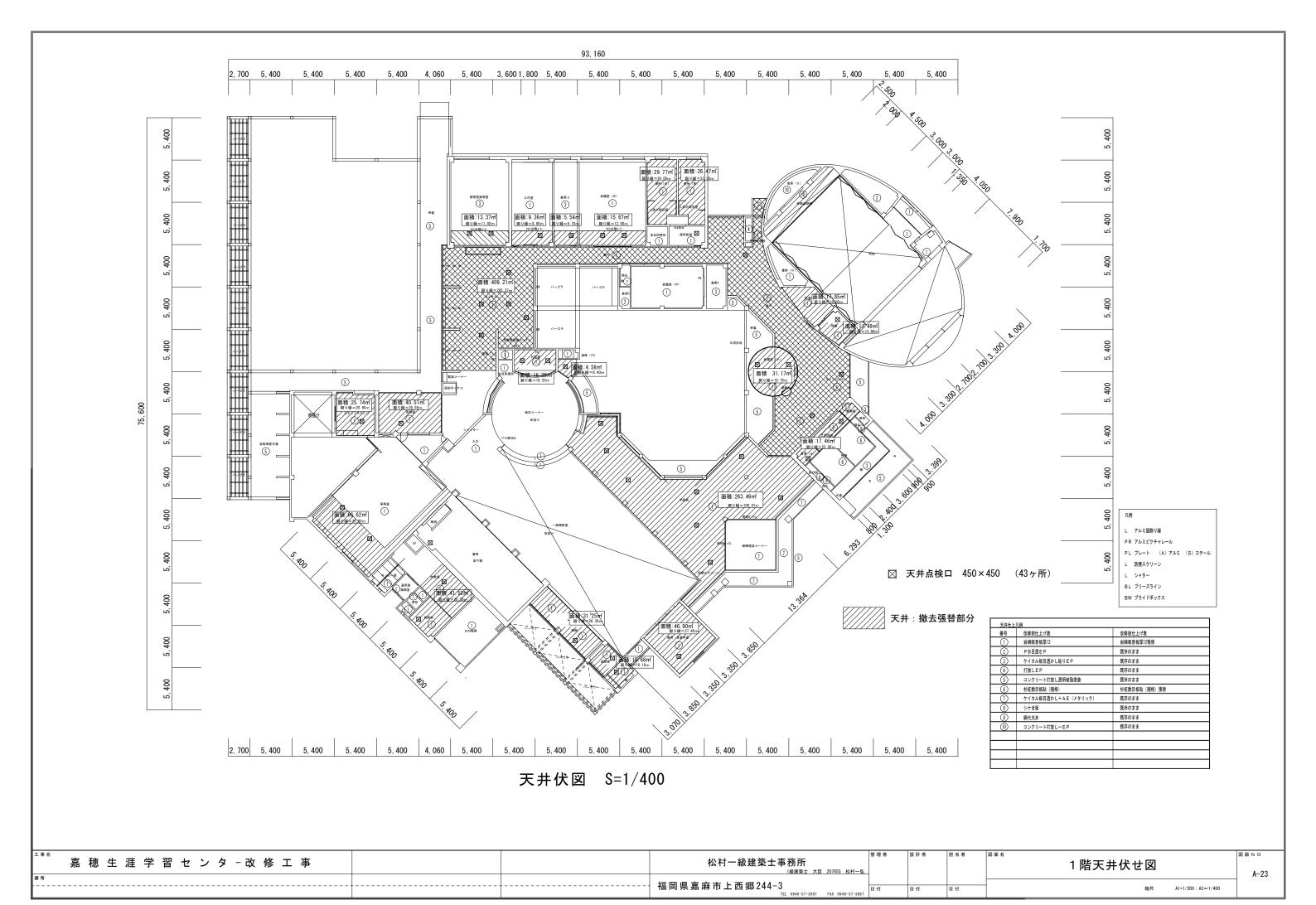


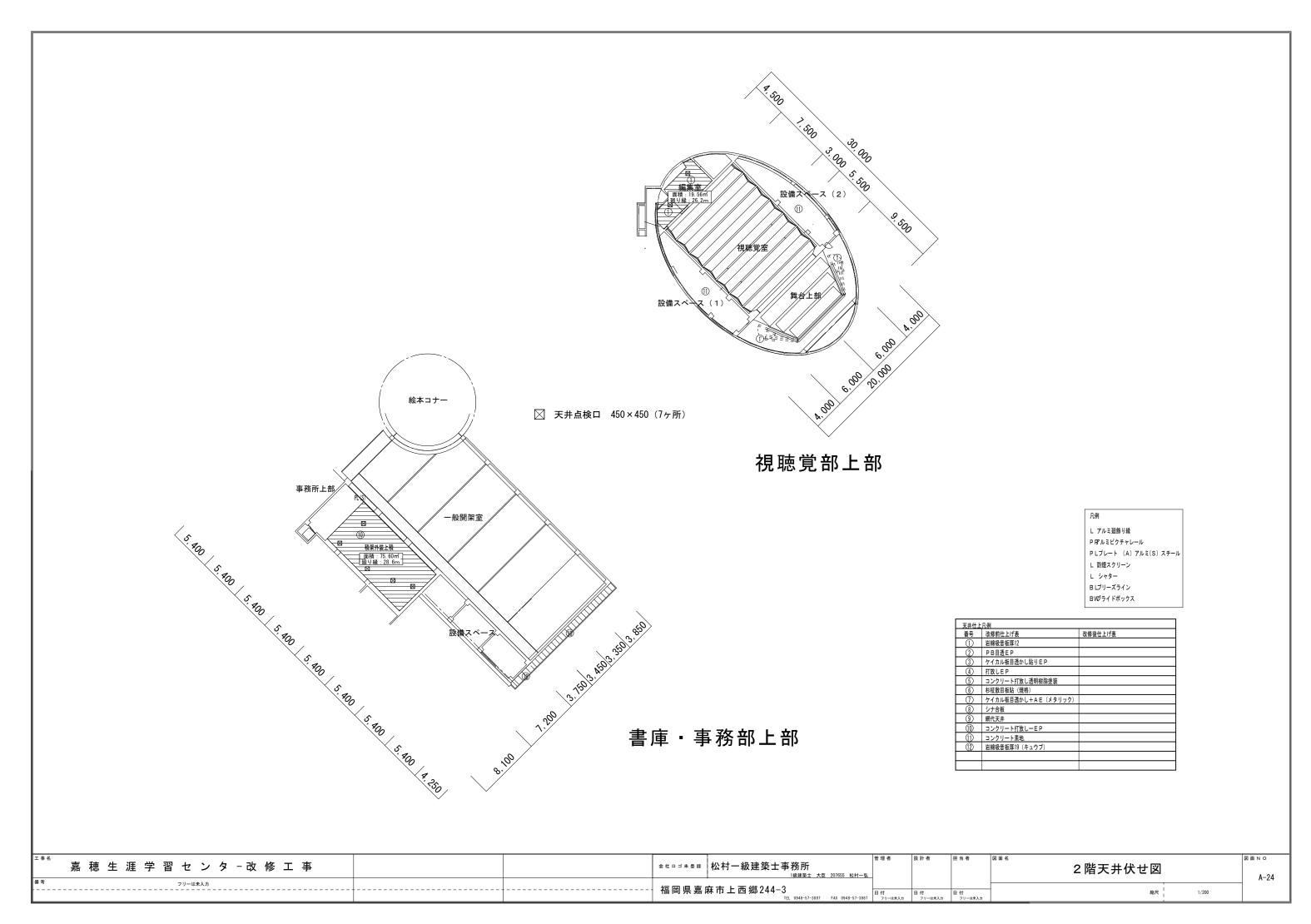


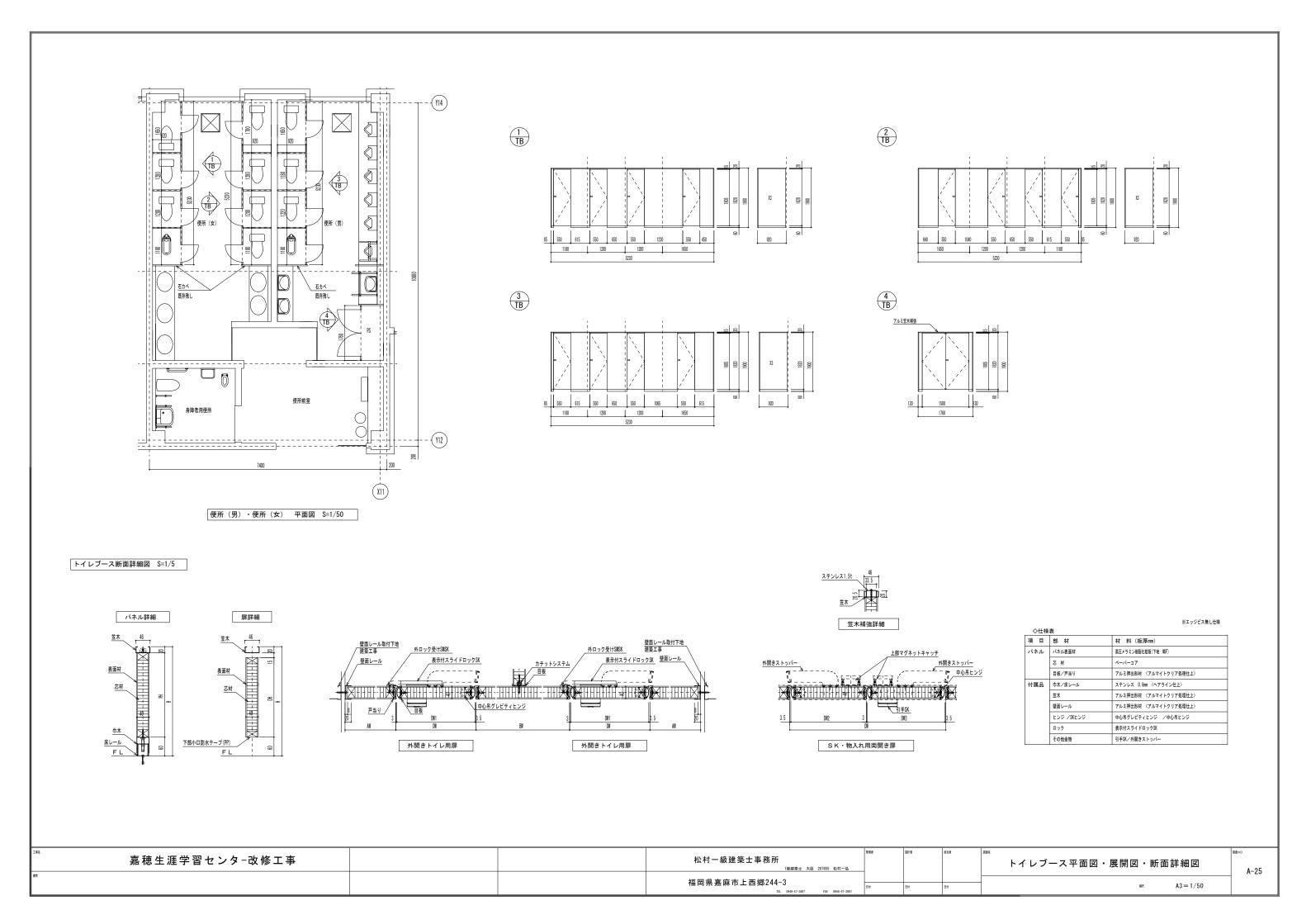


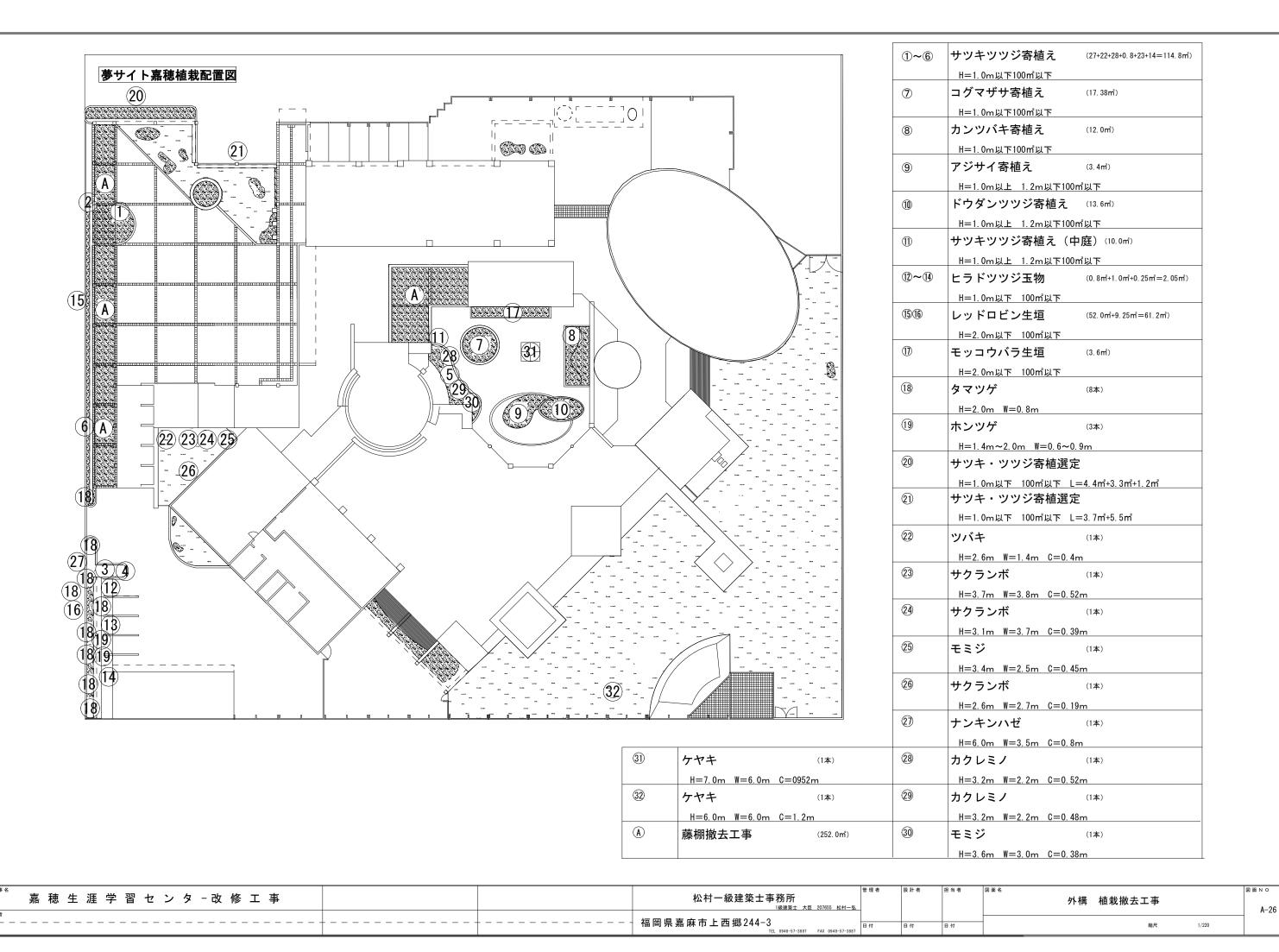


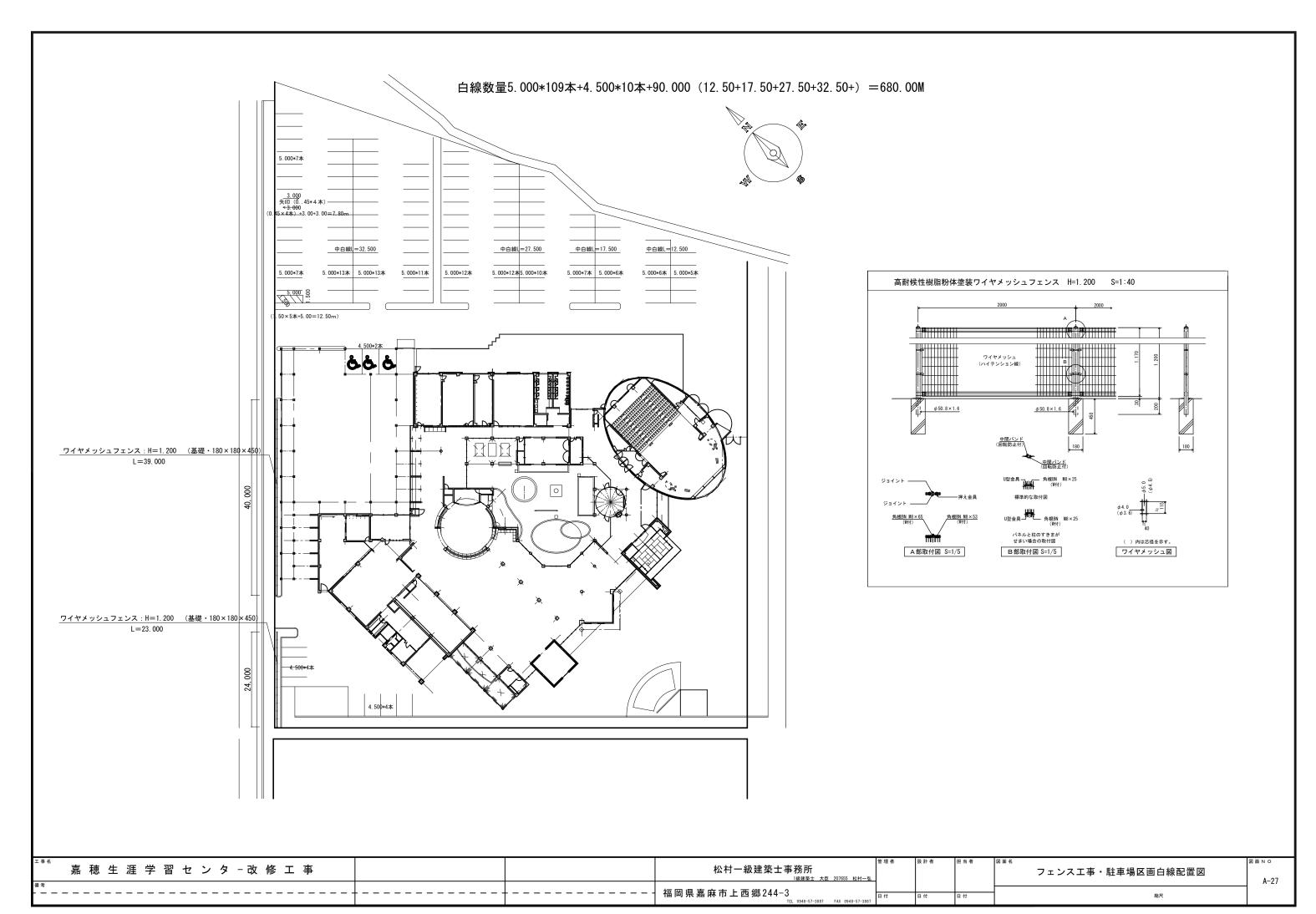


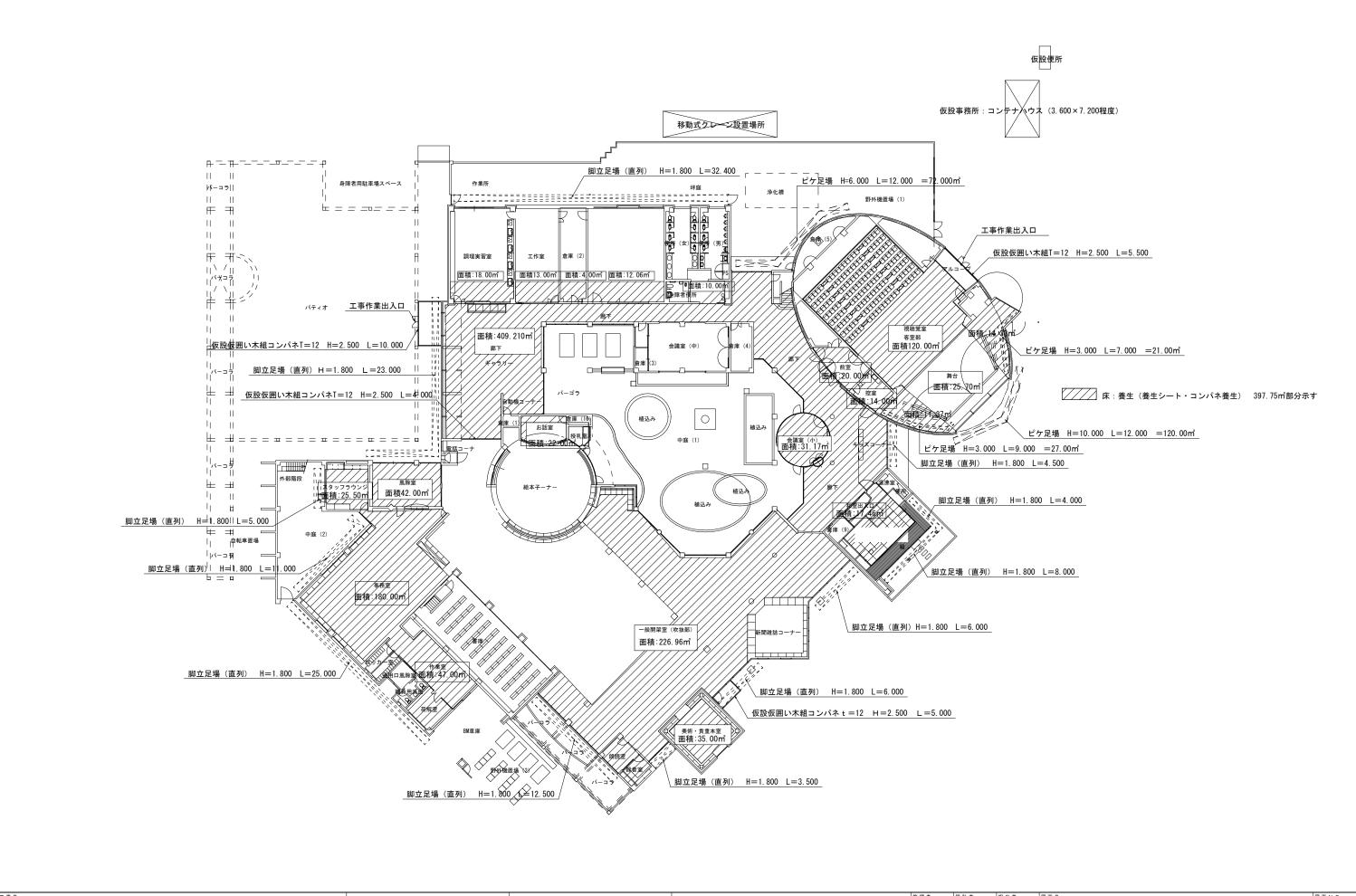




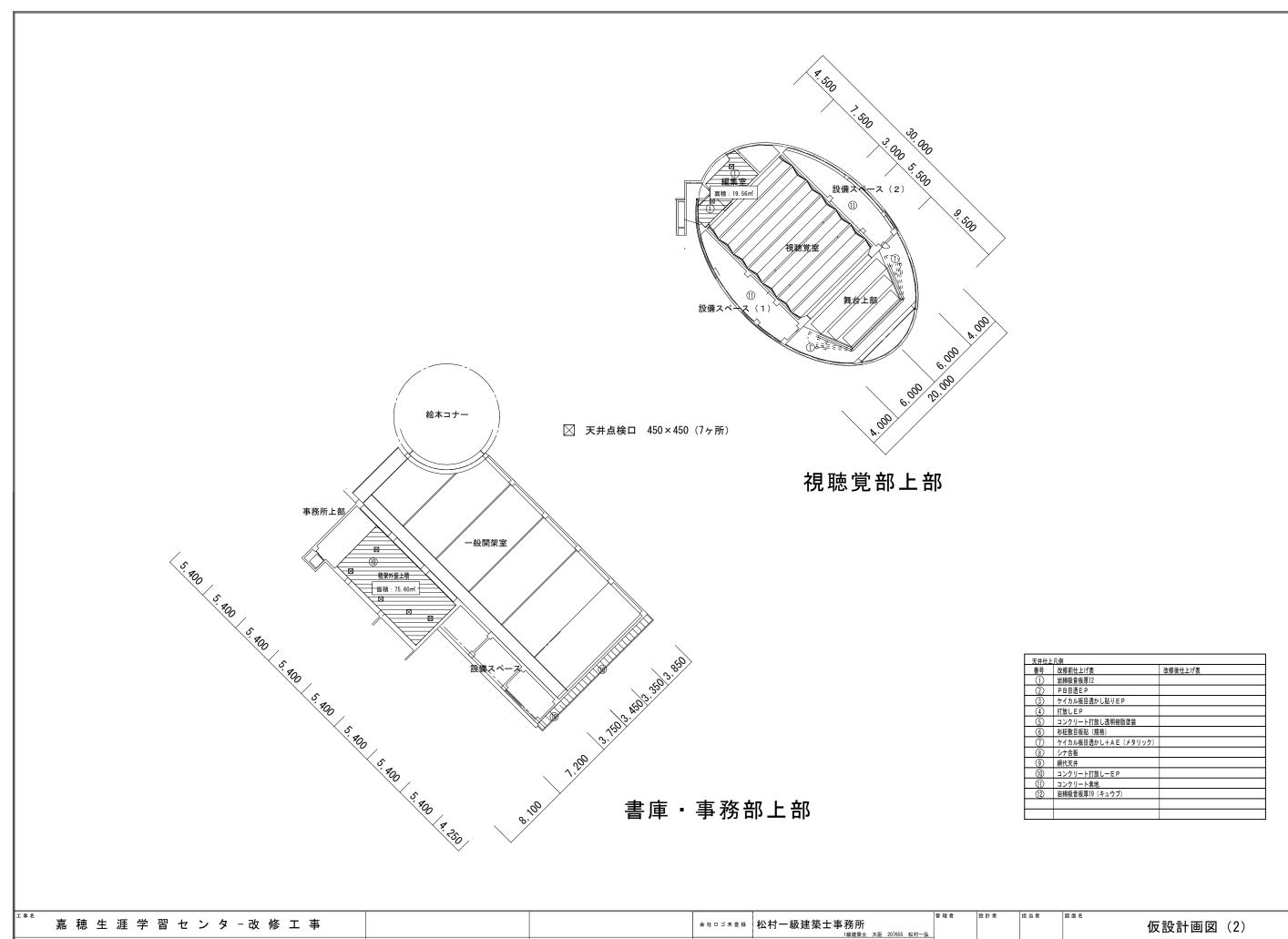








嘉 穂 生 涯 学 習 セ ン タ - 改 修 エ 事	松村一級建築士事務所 1級建築士 大臣 207655 松村一弘	仮設計画図(1) A-28 (1)
债者	- 福岡県嘉麻市上西郷244-3 TEL 0948-57-3887 FAX 0948-57-3887 日付 日付 日付	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·



1	まる 古 仕 涯 学 羽 ね こん 一 山 枚 丁 恵	A 4 D ¬ + 2 M	松村一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
	嘉穂生涯学習センター改修工事	会社口ゴ未登録	松州				仮設計画図(2)	A-28 (2)
1	in フリーは未入力	 福岡県嘉	<b>森市上西郷244−3</b>	日仕	E (t	日付		1 20(2)
			TEL 0948-57-3887 FAX 0948-57-3887	フリーは未入	カ フリーは未え	しカ フリーは未入力	7107	

